議 事 日 程 （第 1 号）

令和 6 年 2 月 22 日（木曜日）午前 9 時 30 分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 諮第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 5 諮第 2 号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 6 諮第 3 号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 7 同第 1 号 下呂市教育委員会委員の任命について
- 日程第 8 同第 2 号 下呂市教育委員会委員の任命について
- 日程第 9 同第 3 号 下呂市監査委員の選任について
- 日程第 10 同第 4 号 下呂市監査委員の選任について
- 日程第 11 議第 3 号 森 8 号線道路改良（2－2）工事請負契約の変更契約の締結について
- 日程第 12 議第 4 号 新子育て支援施設建設（建築）工事請負契約の変更契約の締結について
- 日程第 13 議第 5 号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設の指定管理者の指定期間の変更について
- 日程第 14 議第 6 号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第 15 議第 7 号 下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 16 議第 8 号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について
- 日程第 17 議第 9 号 下呂市医師確保奨学資金条例を廃止する条例について
- 日程第 18 議第 10 号 令和 5 年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計への繰出について
- 日程第 19 議第 11 号 令和 5 年度下呂市一般会計補正予算（第 12 号）
- 日程第 20 議第 12 号 令和 5 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第 4 号）
- 日程第 21 議第 13 号 令和 5 年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）
- 日程第 22 議第 14 号 令和 5 年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第 3 号）
- 日程第 23 議第 15 号 令和 5 年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 4 号）
- 日程第 24 議第 16 号 令和 5 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第 4 号）
- 日程第 25 議第 17 号 令和 5 年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第 2 号）
- 日程第 26 議第 18 号 令和 5 年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第 4 号）
- 日程第 27 議第 19 号 令和 5 年度下呂市水道事業会計補正予算（第 6 号）
- 日程第 28 議第 20 号 令和 5 年度下呂市下水道事業会計補正予算（第 4 号）

- 日程第29 議第21号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第5号）
- 日程第30 議第22号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第4号）
- 日程第31 市長施政方針説明
- 日程第32 議第23号 証明書の交付等に関する事務の委託の廃止について
- 日程第33 議第24号 市道の路線変更について
- 日程第34 議第25号 下呂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第35 議第26号 下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第36 議第27号 下呂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第37 議第28号 下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 日程第38 議第29号 下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例について
- 日程第39 議第30号 下呂市立休日診療所設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第40 議第31号 下呂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 日程第41 議第32号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
- 日程第42 議第33号 下呂市道路占用料条例の一部を改正する条例について
- 日程第43 議第34号 下呂市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について
- 日程第44 議第35号 下呂市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第45 議第36号 下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 日程第46 議第37号 下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例について
- 日程第47 議第38号 令和6年度下呂市水道事業会計への繰出について
- 日程第48 議第39号 令和6年度下呂市下水道事業会計への繰出について
- 日程第49 議第40号 令和6年度下呂市一般会計予算
- 日程第50 議第41号 令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算
- 日程第51 議第42号 令和6年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第52 議第43号 令和6年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算
- 日程第53 議第44号 令和6年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
- 日程第54 議第45号 令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）予算
- 日程第55 議第46号 令和6年度下呂市下呂財産区特別会計予算

- 日程第56 議第47号 令和6年度下呂市学校給食費特別会計予算
 日程第57 議第48号 令和6年度下呂市水道事業会計予算
 日程第58 議第49号 令和6年度下呂市下水道事業会計予算
 日程第59 議第50号 令和6年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算
 日程第60 議第51号 令和6年度下呂市立金山病院事業会計予算

出席議員（13名）

議長	中 島 ゆき子	1番	鷺 見 昌 己
2番	田 口 琢 弥	3番	飯 塚 英 夫
4番	森 哲 士	5番	田 中 喜 登
6番	尾 里 集 務	9番	今 井 政 良
10番	伊 藤 嚴 悟	11番	一 木 良 一
12番	吾 郷 孝 枝	13番	中 島 新 吾
14番	中 島 達 也		

欠席議員（なし）

欠 員（1名）

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

市 長	山 内 登	副 市 長	田 口 広 宣
教 育 長	中 村 好 一	会 計 管 理 者	中 谷 三 男
総 務 部 長	今 瀬 成 行	ま ち づ ぐ り 推 進 部 長	田 谷 諭 志
地 域 振 興 部 長	小 池 雅 之	教 育 委 員 会 長	林 雅 人
環 境 部 長	田 口 昇	農 林 部 長	都 竹 卓
農 林 部 理 事	小 木 曾 謙 治	建 設 部 長	大 前 栄 樹
金 山 病 院 事 務 局 長	池 戸 美 紀	市 民 保 健 部 長	森 本 千 恵
福 祉 部 長	野 村 穰	観 光 商 工 部 長	河 合 正 博
消 防 長	齋 藤 進	上 下 水 道 部 長	今 村 正 直

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議 会 事 務 局 長	今 井 満	書 記	細 江 隆 義
-------------	-------	-----	---------

◎開会及び開議の宣告

○議長（中島ゆき子君）

おはようございます。お疲れさまです。

ただいまの出席議員は13人で定足数に達しています。

これより令和6年第2回下呂市議会定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

なお、報道機関、広報「げろ」及びCCNより取材の申込みがございましたので、これを許可いたします。

◎会議録署名議員の指名

○議長（中島ゆき子君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、14番 中島達也君、1番 鷲見昌己君を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（中島ゆき子君）

日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から3月22日までの30日間としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、会期は30日間と決定いたしました。

◎諸般の報告

○議長（中島ゆき子君）

日程第3、諸般の報告を行います。

市長行政報告、議長報告、定期監査結果報告、財政援助団体等監査結果報告及び例月現金出納検査報告は、お手元の配付のとおりでありますので御覧願います。

◎諮第1号から諮第3号までについて（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（中島ゆき子君）

日程第4、諮第1号 人権擁護委員候補者の推薦について、日程第5、諮第2号 人権擁護委員候補者の推薦について、日程第6、諮第3号 人権擁護委員候補者の推薦について、以上3件

を一括議題といたします。

諮第1号から諮第3号までの3件について、提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（山内 登君）

ただいま一括上程されました諮第1号から諮第3号までの議案につきまして、御説明を申し上げます。

この3議案につきましては、人権擁護委員の任期が令和6年6月30日で満了となるもので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものでございます。

お願いする3名の方々を御説明申し上げます。

議案書の1ページを御覧ください。

諮第1号 人権擁護委員候補者の推薦について。

次の者を人権擁護委員候補者として推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求める。

氏名、藤原由美子、年齢64歳、住所は記載のとおりでございます。令和6年2月22日提出。

提案理由は、人権擁護委員 藤原由美子氏が令和6年6月30日に任期満了となるためでございます。

以下、3ページ、諮第2号から5ページ、諮第3号までは提案理由が同じでございますので、氏名・年齢のみの御説明とさせていただきます。

3ページをお願いいたします。

諮第2号、氏名、大前正人、年齢72歳。

5ページをお願いいたします。

諮第3号、氏名、石丸照彦、年齢70歳。

以上3件につきまして、議会の意見を求めるものでございます。よろしく御願ひ申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

これより本3件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました諮第1号から諮第3号までの3件については、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。よって、諮第1号から諮第3号までの3件については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、本3件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[挙手する者なし]

次に、本3件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[挙手する者なし]

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

お諮りします。諮第1号 人権擁護委員候補者の推薦について、本件は藤原由美子さんを適任とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。よって、諮第1号については、藤原由美子さんを適任とすることに決定いたしました。

諮第2号 人権擁護委員候補者の推薦について、本件は大前正人さんを適任とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。よって、諮第2号については、大前正人さんを適任とすることに決定いたしました。

諮第3号 人権擁護委員候補者の推薦について、本件は石丸照彦さんを適任とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。よって、諮第3号については、石丸照彦さんを適任とすることに決定いたしました。

◎同第1号及び同第2号について（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（中島ゆき子君）

日程第7、同第1号 下呂市教育委員会委員の任命について、日程第8、同第2号 下呂市教育委員会委員の任命について、以上2件を一括議題といたします。

同第1号及び同第2号について、提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（山内 登君）

ただいま一括上程されました同第1号及び同第2号につきまして、御説明を申し上げます。

この2議案につきましては、現下呂市教育委員会委員のうち、お二人の任期が令和6年5月と6月にそれぞれ任期満了となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2

項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

お願いする2名の方について御説明申し上げます。

議案書7ページを御覧ください。

同第1号 下呂市教育委員会委員の任命について。

次の者を下呂市教育委員会委員に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求める。

氏名、三木朋哉、年齢45歳、住所は記載のとおりでございます。令和6年2月22日提出。

提案理由は、下呂市教育委員会委員 三木朋哉氏が令和6年5月13日に任期満了となるためでございます。

続いて議案書9ページを御覧ください。

同第2号 下呂市教育委員会委員の任命について。

任命に当たっての規定等は同第1号と同じでございますので、省略させていただき、氏名、年齢、提案理由について御説明申し上げます。

氏名、細江洋一郎、年齢66歳。

提案理由は、下呂市教育委員会委員 細江洋一郎氏が令和6年6月1日に任期満了となるためでございます。

以上2議案につきまして、御同意賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

これより本2件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました同第1号及び同第2号については、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。よって、同第1号及び同第2号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、本2件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[挙手する者なし]

次に、本2件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[挙手する者なし]

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

同第1号 下呂市教育委員会委員の任命について、本件を原案のとおり同意することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、同第1号については同意することに決定いたしました。

同第2号 下呂市教育委員会委員の任命について、本件を原案のとおり同意することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、同第2号については同意することに決定いたしました。

◎同第3号及び同第4号について（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（中島ゆき子君）

日程第9、同第3号 下呂市監査委員の選任について、日程第10、同第4号 下呂市監査委員の選任について、以上2件を一括議題といたします。

同第3号及び同第4号について提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（山内 登君）

ただいま一括上程されました同第3号及び同第4号につきまして、御説明を申し上げます。

この2議案につきましては、現下呂市監査委員の任期が令和6年4月と5月にそれぞれ任期満了となりますので、地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求めるところでございます。

申し上げます2名の方を御説明申し上げます。

議案書の11ページを御覧ください。

同第3号 下呂市監査委員の選任について。

次の者を下呂市監査委員に選任したいので、地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求めます。

氏名、都竹基己、年齢71歳、住所は記載のとおりでございます。令和6年2月22日提出。

提案理由は、監査委員 都竹基己氏が令和6年4月17日に任期満了となるためでございます。

続いて議案書の13ページを御覧ください。

同第4号 下呂市監査委員の選任について。

選任に当たっての規定等は同第3号と同じでございますので、省略させていただき、氏名、年齢を御説明申し上げます。

氏名、今井能和、年齢69歳。

提案理由は、監査委員 今井能和氏が令和6年5月13日に任期満了となるためでございます。
以上2議案につきまして、御同意賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

これより本2件に対する質疑を行います。
質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました同第3号及び同第4号については、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、同第3号及び同第4号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、本2件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本2件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

同第3号 下呂市監査委員の選任について、本件を原案のとおり同意することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、同第3号については同意することに決定いたしました。

同第4号 下呂市監査委員の選任について、本件を原案のとおり同意することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、同第4号については同意することに決定いたしました。

◎議第3号から議第6号までについて（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（中島ゆき子君）

日程第11、議第3号 森8号線道路改良（2-2）工事請負契約の変更契約の締結について、

日程第12、議第4号 新子育て支援施設建設（建築）工事請負契約の変更契約の締結について、日程第13、議第5号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設の指定管理者の指定期間の変更について、日程第14、議第6号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例の一部を改正する条例について、以上4件を一括議題といたします。

初めに、議第3号について提案理由の説明を求めます。

建設部長。

○建設部長（大前栄樹君）

議案書の15ページをお開きください。

議第3号 森8号線道路改良（2-2）工事請負契約の変更契約の締結について。

次のとおり工事請負契約の変更契約を締結することについて、議会の議決を求める。

1. 工事名、森8号線道路改良（2-2）工事。2. 契約の方法、事後審査型条件付一般競争入札。3. 契約金額、変更前が2億2,110万円、変更後2億3,408万円。4. 契約の相手方、岐阜県下呂市森191番地1、曙開発株式会社、代表取締役 松田秀弘。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。森8号線道路改良（2-2）工事の請負契約の変更契約が、下呂市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する「議会の議決に付さなければならない契約は、予定価格1億5,000万円以上の工事又は製造の請負」に該当するためでございます。

次ページをお願いします。

変更内容説明資料でございます。

1. 仕様書番号、令和4年度の建工第22号でございます。2の工事名、3の契約金額につきましては今ほど申し上げたとおりで、契約金額の増減は1,298万円の増額でございます。4の変更理由・内容でございますが、本工事を実施するに当たり、不可視部の擁壁の構造をT型擁壁と判断して計画しておりましたが、掘削の結果、重力式の擁壁であったため、撤去作業におきまして、安全に片側交互通行を行いながらの施工が見込めなくなりましたので、作業スペースが狭くても取壊しができるワイヤーで切断する工法に変更するなど、契約金額を増額して変更契約を締結する必要が生じたためでございます。

説明は以上です。御審議よろしくをお願いします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第4号から議第6号までの3件について、提案理由の説明を求めます。

福祉部長。

○福祉部長（野村 穰君）

議案書の17ページをお願いいたします。

議第4号 新子育て支援施設建設（建築）工事請負契約の変更契約の締結について。

次のとおり工事請負契約の変更契約を締結することについて、議会の議決を求める。

1. 工事名、新子育て支援施設建設（建築）工事。2. 契約の方法、事後審査型条件付一般競

争入札。3. 契約金額、変更前2億1,922万5,600円、変更後2億2,055万7,700円。4. 契約の相手方、岐阜県下呂市萩原町跡津439番地1、日産工業株式会社、代表取締役社長 島秀太郎。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。新子育て支援施設建設（建築）工事の請負契約の変更契約が、下呂市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する「議会の議決に付さなければならない契約は、予定価格1億5,000万円以上の工事又は製造の請負」に該当するものでございます。

変更内容について説明をさせていただきますので、18ページをお願いいたします。

1. 仕様書番号、家庭工第1号でございます。2の工事名、3の契約金額は先ほど申し上げたとおりでございます。契約金額の増額は133万2,100円の増額となります。4. 変更理由・内容でございます。

本工事に使用する木材の生産地について、下呂市生産材を基本とすることを求めており、材料の確保に想定以上の時間を要したため、工事の完成期限を令和6年4月22日まで31日間延長することに伴い、負担が増える現場事務所や仮設トイレなどのリース料や光熱費、現場従業員の給料、手当や法定福利費などの工事に係る共通費を増額して変更契約を締結するものでございます。

以上でございます。

続いて議案書の19ページをお願いいたします。

議第5号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設の指定管理者の指定期間の変更について。次のとおり指定管理者の指定期間を変更することについて、議会の議決を求めるものでございます。

1. 施設の名称、下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設。2. 指定管理者となる団体の名称、岐阜県下呂市萩原町萩原600番地1、特定非営利活動法人サン・はぎわら、理事長 青木幸美。指定の期間、変更前、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間。(2)変更後、令和6年6月1日から令和9年3月31日までの2年10か月となります。4. 変更の理由、下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設建設工事の工事延期等の影響により、令和5年12月議会で議決をいただいた指定管理期間の開始を2か月遅らせる変更をするものでございます。令和6年2月22日提出。

以上でございます。

続いて21ページをお願いいたします。

議第6号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例の一部を改正する条例について。下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設建設工事の工期延期等の影響により、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要について、23ページで説明をさせていただきます。お願いいたします。

条例要綱でございます。下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例の一部を改正する条例要綱。

1. 改正理由は重複するので省略いたします。

2. 概要でございます。条例の施行日を令和6年4月1日から施設完成後の令和6年6月1日に改めるものでございます。附則第1項関係です。

(2)この条例の施行の前に、指定管理者に公の施設の管理を行わせるための準備行為を行わせることができるものとしますとし、指定管理者に施設の出入りをはじめ、施設の開設準備を行わせることができる旨の規定を置きました。附則第3項関係でございます。

以上3件でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

これより本4件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました議第3号から議第6号までの4件については、会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議第3号から議第6号までの4件については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、本4件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本4件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第3号 森8号線道路改良（2-2）工事請負契約の変更契約の締結について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第3号は原案のとおり可決されました。

議第4号 新子育て支援施設建設（建築）工事請負契約の変更契約の締結について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第4号は原案のとおり可決されました。

議第5号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設の指定管理者の指定期間の変更について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第5号は原案のとおり可決されました。

議第6号 下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例の一部を改正する条例について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第6号は原案のとおり可決されました。

◎議第7号から議第10号までについて（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（中島ゆき子君）

日程第15、議第7号 下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について、日程第16、議第8号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について、日程第17、議第9号 下呂市医師確保奨学資金条例を廃止する条例について、日程第18、議第10号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計への繰出について、以上4件を一括議題といたします。

初めに、議第7号について提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（今瀬成行君）

おはようございます。よろしくお願いいたします。

議案書の25ページをお開きください。

議第7号 下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について。

下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。災害時応援協定等に基づいて派遣された職員に、災害地派遣手当を支給するため、当該条例の一部を改正するものでございます。

詳細は条例要綱で御説明をしますので、27ページをお開きください。

下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例要綱。

1. 改正理由、改正理由は提案理由と同じですので、省略をさせていただきます。
2. 概要、(1)災害時応援協定等に基づいて派遣された職員に、災害地派遣手当として、業務に従事した日1日につき1,500円を超えない範囲で支給します。第2条、第19条関係でございます。

(2)この条例は、公布の日から施行し、令和6年1月1日から適用いたします。附則第1項関係でございます。

なお、1月1日の適用としておりますのは、能登半島地震の災害支援に地震発生時から職員を派遣したためでございます。

以上でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第8号について提案理由の説明を求めます。

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

議案書の29ページをお開きください。

議第8号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について。

下呂市基金条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。一部の基金の目的の見直し、並びに事業の見直しに伴う基金の設置及び廃止を行うため、当該条例の一部を改正するものです。

詳細について、条例要綱で説明をいたしますので、32ページをお願いします。

1. 改正理由、提案理由と同様ですので、省略をさせていただきます。

2. 概要ですが、(1)中学生の学校給食費の負担軽減を目的とした下呂市子育て応援基金の対象者を小学校及び特別支援学校の児童・生徒まで拡大します。第3条関係でございます。

(2)下呂市医師確保奨学資金事業から岐阜県と共同実施する医学生修学資金貸付事業への見直しに伴い、運用基金の「下呂市医師確保奨学資金基金」を削り、積立基金に「下呂市医師確保事業基金」を加えます。第3条関係でございます。

(3)この条例は、公布の日から施行します。附則関係でございます。

本日上程をいたします議第11号 令和5年度下呂市一般会計補正予算（第12号）におきまして、基金の繰入れ、積立ての予算を計上させていただいておりますので、補正予算前の号数で初日採決をお願いするものとなります。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしく願いをいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第9号について提案理由の説明を求めます。

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

33ページをお願いいたします。

議第9号 下呂市医師確保奨学資金条例を廃止する条例について。

下呂市医師確保奨学資金条例を廃止する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。同じ医師確保を目的とし、より効果を期待できる岐阜県と共同で実施している医学生修学資金貸付事業に整理することに伴い、当該条例を廃止するものでございます。

詳細は条例要綱にて説明させていただきますので、35ページをお願いいたします。

下呂市医師確保奨学資金条例を廃止する条例要綱。

1の廃止理由は提案理由と同じですので、省略させていただきます。

2. 概要でございます。(1)下呂市医師確保奨学資金条例を廃止します。本則関係でございます。

(2)この条例は、公布の日から施行します。附則関係でございます。

本条例は議第11号 令和5年度下呂市一般会計補正予算(第12号)において、基金の繰入れ、積立てに関連しておりますので、補正予算前の号数で初日採決をお願いするものでございます。

以上、御審議のほどお願いいたします。

○議長(中島ゆき子君)

次に、議第10号について提案理由の説明を求めます。

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長(田谷諭志君)

それでは、議案書の37ページをお開きください。

議第10号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計への繰出について。

地方財政法第6条の規定により、令和5年度下呂市一般会計は、次のとおり令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計へ繰り出しするものとする。

繰出額977万7,000円。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。ふるさと納税の仕組みを活用し実施した、下呂温泉合掌村のガバメントクラウドファンディングにおいて、いただいた寄附金額から必要経費を差し引いた額を基準外繰り出しすることについて、議会の議決を求めるものでございます。

本日上程します議第11号 令和5年度下呂市一般会計補正予算(第12号)におきまして、繰り出しに当たる出資金の予算を計上しておりますので、補正予算前の号数で初日採決をお願いするものでございます。

説明は以上です。御審議のほどよろしくお願いをいたします。

○議長(中島ゆき子君)

これより本4件に対する質疑を行います。

質疑はありますか。

[挙手する者あり]

10番 伊藤厳悟議員。

○10番(伊藤厳悟君)

もう少し詳しく説明いただきたいと思いますので質問いたしますが、下呂市における医師確保の基金条例を変えると、こういう説明でありました。これは下呂市の医師が非常に少ないということで、下呂市独自の基金をつかってやってきたという記憶がございます。

そして、これからこれを県と共同で運用していくと、こういう説明だったと思いますが、私は一番ポイントとして大事なことは、そういうことによって、より柔軟に、そしてより希望者が理

解しやすい、そういうことになるんだと思いますが、その辺についての改良点を説明していただきたいと、お願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

今回、下呂市単独で行っております医師奨学資金につきましては、勤務する医療機関が限られております。市民病院の金山病院と小坂診療所に限られております。今回、県と一緒にっておりますこの医師修学資金制度につきましては、飛騨管内の病院、そして下呂温泉病院も含めた市内の病院で勤務することが可能となっております。より勤務先を広げることによって、希望者が広く募れるのではないかと考えております。

また、医師の育成に関しましても、県、そして今の赤十字病院さんや下呂温泉病院さんと共に医師を育てていくということが可能になりますので、より一層育成について、また希望者も増えるというふうに考えており、このような条例を廃止し、新たに基金をつくるというものでございます。以上でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（中島ゆき子君）

10番 伊藤巖悟君。

○10番（伊藤巖悟君）

ただいま非常に詳しく説明をしていただきましたので、かなり多くの方が理解できるであろうと。より改善をされて、そしてこれが、日本においても非常に医師不足が言われております。1,000人当たりの医師の数が2.6と、このような数字も出ておりますが、どうかこの下呂を中心とした今の御説明の中で、随分金山病院、下呂温泉病院、飛騨地方においては非常に医師不足が叫ばれております。したがって、これをしっかりとPRしていただきまして、医師が確保できるように努力をしていただきたいと思いますようお願いをしておきます。

○議長（中島ゆき子君）

ほかに質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました議第7号から議第10号までの4件については、会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議第7号から議第10号までの4件については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、本4件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[挙手する者なし]

次に、本4件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[挙手する者なし]

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第7号 下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第7号は原案のとおり可決されました。

議第8号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第8号は原案のとおり可決されました。

議第9号 下呂市医師確保奨学資金条例を廃止する条例について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第9号は原案のとおり可決されました。

議第10号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計への繰出について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第10号は原案のとおり可決されました。

◎議第11号から議第22号までについて（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（中島ゆき子君）

日程第19、議第11号 令和5年度下呂市一般会計補正予算（第12号）、日程第20、議第12号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）、日程第21、議第13号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）、日程第22、議第14号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）、日程第23、議第15号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）、日程第24、議第16号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第4号）、日程第25、議第17号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）、日程第26、議

第18号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第4号）、日程第27、議第19号 令和5年度下呂市水道事業会計補正予算（第6号）、日程第28、議第20号 令和5年度下呂市下水道事業会計補正予算（第4号）、日程第29、議第21号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第5号）、日程第30、議第22号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第4号）、以上12件を一括議題といたします。

議第11号から議第22号までの12件について、提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（山内 登君）

ただいま一括上程されました議第11号から議第22号までの補正予算につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

今回の補正予算では、年度末を見据えた事業費や事務費の実績見込み、財源の確定による歳入歳出の増減補正が大半を占めていますが、財政運営関係として、一般会計では市税及び国の各種交付金などの収納見込みによる増減補正、また普通交付税の追加交付やふるさと寄附金の増額、事務事業の確定、実績見込みによる減額補正から生じる財源調整を踏まえ、次年度の事務事業に活用するためのふるさと応援基金への積立てや、頻発する災害に備えるための災害対策基金への積立て、今後の公共施設の整備や改修に対する公共事業基金などへの積立て及び、歳入では臨時財政対策債の減額など、将来の公債費負担の軽減に向けた市債の発行抑制に係る補正予算を計上しています。

また、下呂温泉合掌村事業会計においては、入場者数の増加に伴う営業収益の増額補正なども計上しています。

詳細につきましては、各担当部長が説明をいたしますので、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第11号について詳細説明を求めます。

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

それでは、議第11号 令和5年度下呂市一般会計補正予算（第12号）の詳細説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお開きください。

令和5年度下呂市の一般会計補正予算（第12号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正です。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億5,234万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ260億3,490万1,000円とするものです。款項の区分、金額等は、第1表 歳入歳出予算補正によるものです。

第2条は、繰越明許費の追加、変更及び廃止で、第2表 繰越明許費補正によるものです。

第3条は、債務負担行為の追加で、第3表 債務負担行為補正によるものです。

第4条は、地方債の変更で、第4表 地方債補正によるものです。令和6年2月22日提出。

8ページをお開きください。

第2表 繰越明許費補正でございます。

追加は8ページにあります12事業で、繰越限度額、事業名は記載のとおりで、繰越しの理由は、年度を超えた実施期間の設定が必要なものや、各種調整等に不測の期間を要することなどにより、年度内の完成が見込めなくなったものでございます。

9ページの上段の変更は3事業で、繰越限度額の変更は記載のとおりで、変更の理由は、仕様の変更が必要になったものや、工事において各種調整等により不測の期間を要する案件が増えたことなどによる増額変更でございます。

その下の廃止は、公用自動車、EV車の購入において、年度を超えた納車の可能性を踏まえ、設定をしておりましたが、納車が完了し、次年度に繰り越す必要がなくなったため廃止するものでございます。

続いて10ページをお願いします。

第3表 債務負担行為補正でございます。

追加は令和5年度中に事務を進める必要がある5件で、期間、限度額は記載のとおりでございます。

11ページをお願いいたします。

第4表 地方債補正でございます。

変更は、総務債から災害復旧債までの13事業について、市債の発行抑制及びそれぞれの事業費や財源の確定に伴い借入限度額を変更するもので、起債の方法、利率、償還の方法は従前のとおりでございます。

それでは、事項別明細書にて補正の主な内容を御説明させていただきますので、16ページをお開きください。

歳入でございます。

1款市税は、1項市民税から17ページ上段の5項入湯税までの各税目において、現年度課税分、滞納繰越分の収納見込みによる増減を計上しており、主なもので、市民税は2,375万1,000円の増額、固定資産税は4,903万7,000円の増額、入湯税は698万2,000円の増額を計上しています。

2款地方譲与税は、2項自動車重量譲与税が400万円の増額、4款配当割交付金は400万円の増額、6款法人事業税交付金は1,900万円の増額。

18ページへ移っていただき、7款地方消費税交付金は1,800万円の減額、9款環境性能割交付金は400万円の増額で、いずれも現時点での今年度交付見込額の算出による増減です。

11款地方交付税は1億1,764万3,000円の増額で、国の補正予算により臨時経済対策費と臨時財政対策債償還基金費として追加交付されたものでございます。

19ページへ移っていただき、13款分担金及び負担金、1項分担金は、県営中山間総合整備事業などの農林事業費の確定や見込みに伴う増減補正でございます。

20ページをお開きください。

20ページ中段から21ページ中段までの14款使用料及び手数料、1項使用料に係る補正は、利用実績の増加による市営駐車場使用料の増額や、入居者の退去など、収納見込みによる住宅使用料の減額などが主なものとなります。

21ページ中段の2項手数料に係る補正は、各種指定ごみ袋などの販売見込みによるごみ処理手数料の減額が主なものでございます。

22ページをお開きください。

15款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金2,167万5,000円の減額は、交付額の決定及び実績見込みによる増減補正でございます。

23ページの2項国庫補助金は、大半が事業の確定等による補助金の増減で、主なものは中段のコロナのワクチン接種体制確保事業補助金850万円の減額などが上げられます。

24ページをお開きください。

24ページ中段の16款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金961万8,000円の減額は、今年度交付額の決定及び実績見込みによる増減でございます。

26ページをお開きください。

2項県補助金も交付額の決定などによる補助金の増減で、主なものは農業費補助金で、各種事業の事業費の減額に伴う1,453万5,000円の減額や、27ページの林業費補助金で、事業費確定見込みに伴う公共林道事業補助金など1,786万3,000円の減額でございます。

続いて28ページをお開きください。

28ページ中段から29ページ中段までの17款財産収入、1項財産運用収入、2目利子及び配当金689万5,000円の増額は、それぞれの基金利子及び配当が確定したことによる増額でございます。

その下、2項財産売払収入、1目不動産売払収入の1,448万1,000円の増額は、旧馬瀬体育館敷地及び法定外公共物払下げなどの土地売払収入と、市有林整備による立木竹売払収入でございます。

29ページ下段をお願いします。

29ページ下段から30ページ中段までの18款寄附金4億9,507万円の増額は、主にふるさと寄附金と企業版ふるさと寄附金の増額によるもので、その下、19款繰入金、1目基金繰入金3,067万4,000円の増額は、特定目的基金充当事業の事業費、または財源の確定・調整による減額と、定額運用基金の医師確保奨学資金基金を廃止したことによる基金繰入金の増額によるものでございます。

31ページをお願いいたします。

中段、21款諸収入、3項貸付金元利収入の1,000万円の減額は、小口融資資金預託金の支出見込みによるものでございます。

同ページ下段から33ページまでの5項雑入も今年度実績等によるもので、主なものは1節総務雑入の市町村振興協会交付金1,080万8,000円の増額、32ページ下段の7節消防雑入の消防団員退職報償金1,082万3,000円の減額、33ページ中段の小・中学校徴収金の減額などでございます。

その下、22款市債につきましても、事業費や財源の確定等により起債額を増減調整するものですが、1目総務債の臨時財政対策債6,837万5,000円の減額は、普通交付税の臨時財政対策債償還基金費の追加交付に伴う市債抑制を目的とした減額で、34ページの中段の6目土木債、4節都市計画事業債の公共事業等債3,940万円の減額も、3月の最終補正段階での財源調整により、交付税措置が少ない公共事業等債を優先的に市債の発行抑制を目的に減額するものでございます。

36ページをお願いいたします。

歳出でございます。

歳出補正は、事業費や事務費の実績見込みや、財源が確定したことによる増減補正が大半を占めておりますので、それらの説明は省略をさせていただき、新規に追加する事業などを中心に、右側の説明欄に沿って説明をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

なお、別でお配りをしております3月補正予算の概要で、おおむね100万円以上の増減補正について、その内容などをお示ししておりますので、御参照いただければと思います。

37ページを御覧ください。

中段の2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、総務一般管理諸経費230万7,000円の増額は、価格高騰によるコピー用紙やコピー機使用料の不足分を増額するものでございます。

40ページをお願いいたします。

上段の財政調整基金費423万6,000円の増額は基金利子確定によるもので、その下、公共事業基金費1億6,332万7,000円の増額は、今回の補正で事務事業の減額補正から生じる財源を基に、今後の公共施設の改修や整備等に向けて公共事業基金へ積立てするものでございます。

41ページを御覧ください。

下段の6目企画費、ふるさと寄附金推進事業996万5,000円の増額は、今年度実施したガバメントクラウドファンディングによる寄附が確定したことから、返礼品の報償費をはじめ、必要な経費を増額するものでございます。

42ページをお開きください。

ふるさと応援基金費4億6,505万6,000円の増額は、令和5年10月から12月までにいただきましたふるさと寄附金を基金に積み立て、令和6年度以降の事業の財源とするものでございます。

46ページをお開きください。

最下段、18目コミュニティ施設費、下呂交流会館管理運営費の指定管理料727万6,000円の増額は、今年度指定管理期間継続中で、指定した当時の指定管理料により協定を結んでいる施設において、当初予算では光熱費高騰分を指定管理料に盛り込んでいないことから、指定管理者との協議により、光熱費の不足分として指定管理料を増額するものでございます。

52ページをお開きください。

最下段の3款民生費、1項社会福祉費、2目障がい者福祉費、障がい者自立支援給付事業の扶助費2,027万2,000円の増額は、自立支援給付の増加によるものでございます。

続いて54ページをお開きください。

中段の4目介護保険費の介護保険特別会計（保険事業勘定）繰出金584万2,000円の増額は、特別会計における給付費の増額補正によるものでございます。

55ページを御覧ください。

上段の5目福祉医療費、小・中・高校生等に対する医療費助成618万4,000円は、医療費助成不足見込額を増額するものでございます。

56ページをお開きください。

2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、上段の子ども・子育て支援事業、地域型保育給付負担金220万円の増額は、公定価格見直しなどによる地域型保育給付負担金の増額です。その下、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）の国県支出金返還金157万3,000円と、次の（その他世帯分）の国県支出金返還金871万円の増額は、令和4年度事業確定による国庫支出金の返還金でございます。

59ページをお開きください。

最下段の3項生活保護費、1目生活保護総務費、生活保護臨時事務事業1,600万7,000円の増額は、令和4年度国庫負担金の確定による返還金でございます。

60ページをお開きください。

最下段の4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、医師確保事業基金費5,102万3,000円の増額は、医師確保対策に対し、事務事業見直しにより定額運用基金を廃止し、必要な事業を実施していくための新たな積立基金、下呂市医師確保事業基金に積立てを行うものでございます。

63ページをお開きください。

8目火葬場施設費、火葬場管理運営費、燃料費207万円は、浄郷苑の燃料使用料の増に伴う増額補正でございます。

67ページをお開きください。

6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費、農業委員会運営費498万4,000円は、農地利用最適化活動の実績に伴い、農業委員会委員報酬を増額するものでございます。

最下段の2目農業総務費、ふるさと農林水産基金費1,180万円の増額は、市有林整備による立木竹売払収入を積み立て、農林水産振興事業などに活用するものでございます。

続いて75ページをお開きください。

2項林業費、2目林業振興費、森を育て活かす基金費1,998万9,000円の増額は、今回の補正の森林環境譲与税充当事業の減額により充当し切れない森林環境譲与税を基金に積み立て、次年度の事業の財源とするものでございます。

続いて80ページをお開きください。

7款商工費、2項観光費、3目観光施設費の観光施設管理費臨時、下呂温泉合掌村事業会計出資金977万7,000円の増額は、ふるさと納税の仕組みを活用して実施した下呂温泉合掌村のガバメントクラウドファンディングの寄附額確定により、寄附額から返礼品等の経費を差し引いた額を

繰り出しするものでございます。

83ページをお聞きください。

下段の8款土木費、3項河川費、2目急傾斜地崩壊対策費、県営急傾斜地崩壊対策事業596万6,000円の増額は、国の補正予算に伴い増額となった事業費に対する県営事業負担金でございます。

89ページをお聞きください。

中段、9款消防費、1項消防費、4目災害対策費、1億4,179万円の増額は、頻発する大災害に備えるための災害対策基金への積立金で、令和5年度末の残高は5億619万円となる見込みでございます。

91ページをお聞きください。

中段下、10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費の育英資金基金費153万円の増額は、減免の確定による定額運用基金への繰出金でございます。

少し飛びますが、101ページをお聞きください。

14款予備費は、財源調整と年度末における除雪等の緊急対応を考慮し、2,054万4,000円の増額を計上しています。

102ページをお願いいたします。

こちらは特別職の給与費明細書でございます。

下段の比較欄の合計を御覧ください。議員報酬の減額は議員の欠員による54万円の減額で、その他の特別職の報酬654万4,000円の減額の主なものは、農業委員会委員報酬の498万4,000円の増額と消防団員報酬の1,110万円の減額などでございます。

103ページを御覧ください。

一般職の給与費明細でございます。

上の表、総括の比較欄を御覧ください。給料は1万円の増額、手当は342万5,000円の増額、共済費は640万8,000円の減額で、いずれも決算見込みによる増減でございます。

職員手当の内訳については、下の表のとおりでございます。

続いて105ページをお聞きください。

会計年度任用職員の給与費明細でございます。

上の表、総括の比較欄を御覧ください。報酬661万9,000円の減額の主な内訳は、コロナウイルスワクチン接種業務支援補助員219万8,000円の減額、下呂温泉地域おこし協力隊230万円の減額など、不用額の減でございます。

107ページをお聞きください。

債務負担行為の調書でございます。

先ほど説明をいたしました5業務に係る限度額と、令和6年度以降の支出予定額と、その財源をお示ししております。

108ページをお願いいたします。

地方債の調書でございます。

表の右下が令和5年度末の現在高見込額で225億7,053万4,000円となる見込みでございます。

以上で、令和5年度下呂市一般会計補正予算（第12号）の説明を終わります。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

説明の途中ですが、ここで休憩いたします。

再開は午前10時50分といたします。

午前10時41分 休憩

午前10時50分 再開

○議長（中島ゆき子君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、議第12号及び議第13号について詳細説明を求めます。

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

109ページをお願いいたします。

議第12号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）。

令和5年度下呂市の国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億2,595万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ36億3,970万円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表 歳入歳出予算補正によります。令和6年2月22日提出。

主な歳入歳出予算補正の説明は事項別明細書にて行いますので、114ページをお開きください。歳入の補正でございます。

上段の1款国民健康保険税、1項国民健康保険税、1目一般国民健康保険税、合わせて407万円の増額と、その下、2目退職国民健康保険税、合わせて83万円の減額は、説明欄にありますそれぞれの収納見込みによる補正でございます。

その下、3款国庫支出金、2項国庫補助金6万9,000円の増額補正は、システム改修等に伴う補助金額の確定によるものでございます。

115ページをお願いいたします。

6款県支出金、1項県負担金、3目保険給付費等交付金1億2,764万3,000円の増額は、普通交付金と特別交付金の額決定によるものでございます。

2項県補助金99万2,000円の増額は、減額措置対策費補助金の交付額決定に伴うものでございます。

最下段の8款財産収入、1項財産運用収入、1目利子及び配当金18万8,000円は、基金利子決定による増額でございます。

116ページをお願いいたします。

9款繰入金、1項繰入金、1目一般会計繰入金1,075万8,000円の減額は、保険基盤安定保険税軽減分及び保険者支援分等の交付額決定によるものでございます。

2目基金繰入金457万7,000円の増額は、保険基盤安定金負担金等の収入減による国民健康保険基金繰入金でございます。

117ページからは歳出でございます。

1款総務費、1項総務管理費の減額と、その下、2項徴税費の増額は、不要となる職員手当の減額及び不足する職員手当の増額が主なものでございます。

118ページをお願いいたします。

上段、2款保険給付費、1項療養諸費9,881万8,000円の増額は、保険給付費の増額見込みに伴うものでございます。

その下、2項高額療養費2,364万8,000円の増額は、高額療養費の増加見込みに伴うものでございます。

最下段、4項出産育児諸費は、補助金額確定に伴う財源補正でございます。

119ページをお願いいたします。

中段、5項葬祭諸費60万円の増額は、葬祭費の不足見込み分の増額でございます。

119ページ最下段から120ページ中段の3款国民健康保険事業費納付金と、120ページ最下段、4款保健事業費は、県負担金等の額決定に伴う財源補正でございます。

121ページをお願いいたします。

5款基金積立金、1項基金積立金は、基金利子決定により18万7,000円を積み立てるものでございます。

その下、7款諸支出金、1項償還金及び還付加算金7万5,000円の増額は、令和4年度の補助金等に係る精算に伴う返還額でございます。

最下段、2項繰出金、1目直診勘定会計繰出金287万6,000円の増額は、小坂診療所運営費申請額確定に伴うものでございます。

123ページからは一般職の給与費明細書でございます。

引き続き125ページをお願いいたします。

議第13号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）。

令和5年度下呂市の後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正です。歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ559万9,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億3,984万9,000円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表 歳出予算補正によります。令和6年2月22日提出。

主な歳入歳出予算補正の説明は事項別明細書にて行いますので、128ページをお願いいたします。

歳入の補正でございます。

4 款繰入金、1 項一般会計繰入金、2 目保険基盤安定繰入金559万9,000円の減額は、後期高齢者医療広域連合会納付金の額決定によるものでございます。

129ページをお願いいたします。

歳出の補正でございます。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金559万9,000円の減額は、後期高齢者医療広域連合納付金の確定によるものでございます。

以上で、2 特別会計の説明を終わります。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第14号及び議第15号について詳細説明を求めます。

福祉部長。

○福祉部長（野村 穰君）

それでは、議案書の131ページをお開きください。

議第14号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）について御説明申し上げます。

令和5年度下呂市の介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ123万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億3,509万1,000円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表によります。

第2条は、債務負担行為の補正で、その追加、変更は、第2表によります。令和6年2月22日提出。

それでは、内容につきまして歳入歳出補正予算事項別明細書で御説明いたしますので、136ページをお願いいたします。

歳入でございます。

1 款サービス収入、1 項介護給付費収入400万円、2 項自己負担金収入100万円、4 項特定入所者介護サービス等収入90万円、以上の増額は、小坂老人保健施設への入所者が増加したことに伴うものです。

137ページをお願いします。

3 款県支出金、1 項県補助金87万3,000円の増額は、新型コロナウイルス感染症予防及び高齢者施設への物価高騰対策に対する補助金です。

5 款寄附金は2万円の増額、6 款繰入金、1 項一般会計繰入金802万7,000円の減額は、小坂老人保健施設分が621万円の減額で、サービス収入の増額により減額するものでございます。居宅予防サービス計画事業分の181万7,000円の減額は、職員及び会計年度任用職員の人件費の減額に伴うものでございます。

歳入は以上でございます。

続いて歳出、138ページをお願いいたします。

歳出でございます。

1 款総務費、1 項総務管理費は1 万7, 000円の減額、小坂老人福祉施設職員給与の財源において、入所者増加による収入増により、一般会計からの繰入金を減額する財源補正を行っております。

2 款サービス事業費、2 項施設介護サービス事業費は60万円の増額、小坂老人保健施設職員給与費の時間外勤務手当を増額しております。

139ページをお願いいたします。

3 項居宅予防サービス計画事業費181万7, 000円が減額です。これは地域包括支援センターの職員及び会計年度任用職員の人件費について不用額を減額するものでございます。

次に、すみません、ページを戻っていただいて、134ページをお願いします。

第2表 債務負担行為です。

これは9月定例会において、令和6年度から8年度の3年間の給食業務、限度額4, 613万4, 000円について債務負担行為の承認をいただきましたが、介護医療院開設に当たり、限度額を介護医療院と老人保健施設に病床数で案分するものです。介護医療院に追加分として1, 501万5, 000円、老人保健施設に変更分として3, 111万9, 000円を計上しています。

あと140ページから143ページは、給与費の明細書になります。

144ページですが、これは債務負担行為の前年度までの支出見込額と当該年度以降の支出予定額及び財源内訳でございます。

以上で介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算の説明を終わります。

続いて145ページをお願いします。

議第15号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）の説明をさせていただきます。

令和5年度下呂市の介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7, 842万4, 000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ38億7, 107万5, 000円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表によるものでございます。令和6年2月22日提出。

それでは、詳細を歳入歳出補正予算事項別明細書で説明しますので、150ページをお願いいたします。

歳入でございます。

国庫支出金、1 項国庫負担金は1, 069万9, 000円の増額、2 項国庫補助金は745万9, 000円の増額。

5 款支払基金交付金、1 項支払基金交付金2, 236万5, 000円の増額。

151ページをお願いします。

6 款県支出金、1 項県負担金1, 217万6, 000円の増額、3 項県補助金144万円の増額は、主に介

護給付費の増加に伴う歳入の増額でございます。

8 款財産収入、1 項財産運用収入は22万7,000円、介護保険基金の利子でございます。

152ページをお願いいたします。

10款繰入金、1 項一般会計繰入金584万2,000円は、介護給付費880万円などが主なものです。その他一般会計繰入金439万8,000円の減額は、事務費の見直しによるものでございます。

2 項、介護保険基金からの基金繰入金は1,821万6,000円を計上いたしました。

歳入は以上でございます。

続いて153ページをお願いします。

歳出でございます。

1 款総務費、1 項総務管理費404万円の減額は、システム改修を見直したことや、不用額の減額によるものでございます。

2 款保険給付費、1 項介護サービス等諸費6,757万4,000円の増額。

その下、2 款保険給付費、2 項介護予防サービス等諸費は、154ページに移りまして、281万9,000円の増額で、いずれも利用者が増えたことによるものが主な原因です。

5 款地域支援事業費、2 項包括的支援事業・任意事業費60万円の減額。これは生活支援コーディネーター業務委託費の消費税分が不要のため減額をするものでございます。

155ページをお願いいたします。

同じく5 款地域支援事業費の3 項介護予防・生活支援サービス事業費1,244万4,000円の増額は、サービス利用者が増加したことによるものです。

7 款基金積立金、1 項基金積立金は22万7,000円の増額です。

以上で介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算の説明を終わります。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第16号について詳細説明を求めます。

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

議案書の157ページをお願いいたします。

議第16号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第4号）について御説明いたします。

令和5年度下呂市の国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出予算の総額にそれぞれ17万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億1,233万4,000円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表 歳入歳出予算補正によります。令和6年2月22日提出。

主な歳入歳出予算補正の説明は事項別明細書にて行いますので、162ページをお願いいたしま

す。

歳入の補正でございます。

1 款診療収入、1 項医業収益、合わせて1,000万円の増額は、小坂診療所の入院収益の増と、小坂診療所、馬瀬診療所の外来収益の収入見込みによるものが主なものでございます。

その下、2 項介護収益、合わせて60万円の増額は、長期療養収入の収益の減額と短期療養収益の増額、その他の介護収益の増額見込みによるものでございます。

最下段、4 款県支出金、1 項県補助金44万1,000円の増額は、医療機関等物価高騰対策支援金によるものでございます。

163ページをお願いいたします。

上段、5 款財産収入、1 項財産運用収入、1 目利子及び配当金2万2,000円の増額は、利子額の決定に伴うものでございます。

2 目財産貸付収入30万3,000円の減額は、医師住宅1棟を利用しなかったことによる減額でございます。

最下段、7 款繰入金、1 項繰入金1,058万4,000円の減額は、診療収入増額等に伴い、一般会計から1,346万円の繰入れの減額と、診療所運営費の確定に伴う287万6,000円の繰入れの増額でございます。

164ページをお願いいたします。

歳出でございます。

1 款総務費、1 項総務費33万6,000円の補正は、医業収益の増加による財源補正と、電気料金等の過不足の調整及び医業収益の増加、並びに県補助金の追加申請に伴う財源補正でございます。

その下、2 款医業費、1 項医業費49万円の増額は、不足する職員手当の増額及び不要となる期末勤勉手当の減額、並びに医業収益の増加に伴う財源補正と、眼科医の医師報酬の減額及び医療費不足分の調整、馬瀬診療所の検査費等の増額によるものでございます。

165ページ下段の4 款基金積立金、1 項基金積立金2万2,000円は基金利息確定によるものでございます。

166ページからは給与費明細書でございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第17号について詳細説明を求めます。

地域振興部長。

○地域振興部長（小池雅之君）

それでは、補正予算書171ページをお開きください。

議第17号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）について御説明を申し上げます。

令和5年度下呂市の下呂財産区特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出予算の総額にそれぞれ101万5,000円を追加し、歳入予算の総額を歳入歳出とも646万円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表 歳入歳出予算補正によります。令和6年2月22日提出。

それでは、事項別明細書にて補正の主な内容を説明しますので、174ページをお開きください。歳入補正でございます。

中段の1款財産収入、2項財産売払収入、2目物品売払収入の65万5,000円の増額は、間伐材の売払収入でございます。

下段の4款諸収入、3項雑入、1目雑入の34万2,000円の増額は、財産区有林内での線下伐採に伴う補償料でございます。

175ページをお開きください。

歳出の補正でございます。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費37万7,000円の減額と、下段の2款財産管理費、1項事業費、1目造林事業費の15万2,000円の減額は、事業費の確定に伴う不用額の減額でございます。

176ページをお開きください。

中段の4款予備費、1項予備費、1目予備費の146万4,000円は、先ほど説明をいたしました歳入の額と歳出の減額分を予備費で調整するものでございます。

次の177ページは、財産区の管理委員の給与費明細書でございます。

以上で令和5年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）の説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第18号について詳細説明を求めます。

教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（林 雅人君）

補正予算書の179ページをお開き願います。

議第18号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第4号）でございます。

令和5年度下呂市の学校給食費特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによります。

第1表は、歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算の総額からそれぞれ341万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億4,829万1,000円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表 歳入歳出予算補正によります。令和6年2月22日提出。

事項別明細書で御説明しますので、182ページをお開き願います。

歳入の3款諸収入、1項雑入242万8,000円の減額は、給食費負担分の精算によるもので、歳出補正額との差額を1款繰入金で調整いたします。

続いて183ページをお願いします。

1款学校給食費、1項学校給食費341万4,000円の減額は、2つの学校給食センターの賄材料費

の精算によるものが主な内容でございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第19号及び議第20号について詳細説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（今村正直君）

それでは、補正予算書185ページをお開きください。

議第19号 令和5年度下呂市水道事業会計補正予算（第6号）。

第1条、令和5年度下呂市水道事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

第2条、令和5年度下呂市水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入の予定額を次のとおり補正する。

第1款水道事業収益は2,530万2,000円を減額し、8億7,943万2,000円とするものです。

第3条、予算第4条本文括弧書き中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億901万円は、当年度及び過年度の損益勘定留保資金8,937万4,000円及び消費税資本的収支調整額1,963万6,000円で補てんするものとする。」を「資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億901万円は、当年度及び過年度の損益勘定留保資金9,047万4,000円及び消費税資本的収支調整額1,853万6,000円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

第1款資本的収入は1,210万円を減額し、4億6,849万4,000円とする。

第1款資本的支出は1,210万円を減額し、5億7,750万4,000円とするものです。

186ページになります。

第4条、予算第5条に定めた起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法を次のように改める。内容は表のとおりでございます。令和6年2月22日提出。

詳細は実施計画明細書で説明しますので、193ページをお開きください。

収益的収入の1款1項1目の給水収益2,530万2,000円の減額は、当初予算で見込んでいたほど水道料金収入の伸びが見込めないための下方修正でございます。

194ページをお願いします。

資本的収入の1款1項1目の企業債1,210万円の減額と、その下にございます資本的支出の1款1項1目の改良費1,210万円の減額は、萩原踏切内水道管推進工事について、JRとの協議により、本年度予定していました実施設計業務の発注が見込めなくなったため、収入、支出とも減額するものです。

続いて議第20号について説明させていただきます。

補正予算書197ページをお開きください。

議第20号 令和5年度下呂市下水道事業会計補正予算（第4号）。

第1条、令和5年度下呂市下水道事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

第2条、令和5年度下呂市下水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

第1款下水道事業収益は803万4,000円を減額し、12億3,027万7,000円とする。

第1款下水道事業費用は385万円を減額し、18億9,006万6,000円とするものです。

第3条、予算第4条本文括弧書き中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,231万4,000円は、当該年度及び過年度の損益勘定留保資金955万7,000円及び消費税資本的収支調整額275万7,000円で補てんするものとする」を「資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1,231万4,000円は、当該年度及び過年度の損益勘定留保資金992万1,000円及び消費税資本的収支調整額239万3,000円で補てんするものとする」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

第1款資本的収入は400万円を減額し、11億5,422万9,000円とする。

198ページになります。

第1款資本的支出は400万円を減額し、11億6,654万3,000円とするものです。

第4条、予算第6条に定めた起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法を次のように改める。

内容は御覧の表のとおりでございます。

第5条、予算第9条中「2億6,756万5,000円」を「2億5,935万3,000円」に改める。令和6年2月22日提出。

詳細は実施計画明細書で説明しますので、206ページをお開きください。

収益的収入の1款1項2目の一般会計補助金821万2,000円の減額は、工事費等の減額に伴い補助金を見直したことによる減額です。

続いて207ページをお願いします。

収益的支出の1款1項2目の処理場費385万円の減額は、不測の事態に対応するため計上していた工事費が不要となったための減額です。

続いて208ページ、資本的収入の1款1項1目の建設改良費企業債400万円の減額と、209ページになります、資本的支出、1款1項2目の処理場事業費400万円の減額は、幸田浄化センターの耐震工事において見込んでいた仮設工事が不要となったため、収入、支出とも減額をするものです。

以上で議第19号及び議第20号の説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第21号について詳細説明を求めます。

観光商工部長。

○観光商工部長（河合正博君）

それでは、補正予算書211ページをお開きください。

議第21号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第5号）です。

第1条、令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計の補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

第2条、令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算第2条に定めた業務の予定量につきましては、記載のとおりです。

第3条、予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものです。

収入では、第1款下呂温泉合掌村事業収益の第1項営業収益について1,448万7,000円を増額補正し、補正の額を2億5,803万5,000円とするものです。

支出では、第1款下呂温泉合掌村事業費用の第1項営業費用について930万円を増額補正し、補正後の額を2億2,140万3,000円とするものです。

次に、第2項営業外費用について456万3,000円を増額補正し、補正後の額を1,425万9,000円とするものです。

次の212ページを御覧ください。

第4条、予算第4条本文括弧書き中「資本的支出額に対して不足する額2,233万6,000円は、過年度分損益勘定留保資金1,877万6,000円及び消費税資本的収支調整額356万円」を「資本的支出額に対して不足する額1,255万9,000円は、過年度分損益勘定留保資金899万9,000円及び消費税資本的収支調整額356万円」に改め、資本的収入の予定額を次のとおり補正するものです。

収入で、第1款資本的収入の第3項出資金について977万7,000円を増額補正するものです。令和6年2月22日提出。

次ページから218ページまでは、実施計画、キャッシュ・フロー計算書、予定貸借対照表などでございます。お目通しをください。

次に、219ページをお開きください。

収益的収入及び支出のうち収入です。

2段目、1項営業収益で1,448万7,000円を増額補正の内訳は、1目利用収益が848万7,000円と、2目販売収益の600万円の増額です。これは入場者の増加により増額する入場料と、店舗での売上に係る費用などです。

次に、220ページを御覧ください。

支出の部です。

上から2段目の1項営業費用は、3段目、3目販売費用で930万円の増額、2項営業外費用の2目の消費税は456万3,000円の増額です。これは入場者の増加に伴い、入場者が購入・消費する商品の仕入れの増加に係る費用と消費税相当額です。

次に、221ページを御覧ください。

資本的収入及び支出の収入です。

3項出資金、1目出資金は977万7,000円を増額補正です。これは、クラウドファンディングを利用して御寄附をいただいた金額から経費を除いた金額を一般会計から出資金として繰入れをするものです。

以上で議第21号令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第5号）の説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第22号について詳細説明を求めます。

金山病院事務局長。

○金山病院事務局長（池戸美紀君）

それでは、補正予算書223ページをお開きください。

議第22号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第4号）でございます。

第1条、令和5年度下呂市立金山病院事業会計の補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

第2条は、予算第3条で定めた収益的収入及び支出の予定額を補正するものでございます。

収入では、第1款病院事業収益のうち、第2項医業外収益を408万1,000円増額し、4億4,653万2,000円といたします。

次に、支出では、第1款病院事業費用のうち、第1項医業費用を4,931万9,000円減額し、14億6,505万6,000円に、第2項医業外費用を2万円増額し、2,125万3,000円といたします。

224ページをお開きください。

第3条は、予算第4条本文括弧書きに定めた資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3,876万4,000円を6,036万4,000円に改め、資本的収入額及び支出の予定額を次のとおり補正するものでございます。

収入では、第1款資本的収入のうち、第4項企業債を3,160万円減額し、3,260万円といたします。

支出では、第1款資本的支出のうち、第1項建設改良費を1,000万円減額し、8,506万7,000円といたします。

次に、第4条は、予算第5条に定めた起債の限度額を3,260万円に改めるものでございます。

225ページをお願いします。

令和5年度下呂市立金山病院事業会計補正予算実施計画でございます。

収益的収入の補正では、2項医業外収益、3目補助金において408万1,000円を増額補正するものでございます。これは県から岐阜県医療機関等物価高騰対策支援金として補助されたものでございます。

収益的支出の補正では、1項医業費用、1目給与費において、正規職員の退職により減員となったことに伴い3,037万9,000円を減額します。その内訳は、229ページの給料及び職員手当の増減額の明細のとおりでございます。後ほど御確認ください。

2目材料費では、手術件数及び患者数の減少に伴う診療材料費の減少分1,000万円を減額いたします。

3目経費は894万円を減額します。この内訳は、電気料金契約の見直しや節電等の努力により、

光熱水費を1,000万円減額するほか、物価高騰により消耗品費、通信運搬費、雑費について計106万円を増額補正するものでございます。

続いて226ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出の補正でございます。

収入では、2項国県支出金について、予算の増減を伴わない予算組替えによるものでございます。

4項企業債、1目企業債では、予定した備品購入費の額確定により減額補正をいたします。

支出では、1項建設改良費、1目有形固定資産購入費を1,000万円減額補正いたします。

なお、各補正理由を備考欄に記載させていただいております。

また、補正予算実施計画明細書の234ページから235ページに詳細を掲載しておりますので、御確認ください。

227ページ以降は、予定キャッシュ・フロー計算書、予定貸借対照表、実施計画明細書、病院地方債の当該年度末現在高見込額を添付しております。

238ページをお開きください。

地方債の現在高の見込みに関する調書でございます。

表の右から2つ目の欄、当該年度末現在高は13億4,830万円となる見込みでございます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

福祉部長から発言の訂正の申出がありましたので、これを許可します。

福祉部長。

○福祉部長（野村 稔君）

先ほど私の発言に誤りがございましたので、訂正をさせていただきます。

補正予算書の145ページをお願いいたします。

令和5年度の下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）のところなんですが、予算の増減で7,842万4,000円を追加と申し上げるところを減額と申し上げてしまいました。

おわびして訂正をさせていただきます。

○議長（中島ゆき子君）

これより本12件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者あり]

3番 飯塚英夫君。

○3番（飯塚英夫君）

私は予算書の8ページ、繰越明許費の補正の中の土木費、踏切道改良計画事業が挙がっております。これ、当初では3月末に完成するというので、区民、周辺住民が心待ちにしております。繰り越すということは、事業完成が伸びるのか、またその辺分かっておる段階でいいので、ちょ

っと説明をしていただけるとありがたいです。

○議長（中島ゆき子君）

建設部長。

○建設部長（大前栄樹君）

萩原踏切改良工事につきましては、長きにわたり通行止めをしております、地域の方には大変御迷惑をおかけしているというふうに思っております。

工事の完成につきましては、繰越して残務とかもございしますが、踏切の改良につきましては3月末で開放するようというところでJR東海と調整をしておりますので、日にちが決定次第、皆さんにお知らせができるというふうに踏んでおりますので、早期開放を目指しているという状況でございます。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

3番 飯塚英夫君。

○3番（飯塚英夫君）

ありがとうございます。

自動車の通行に関しては、皆さん諦めモードで迂回しておるんですが、歩行者、自転車、子供の通学路にもなっております。大変心待ちにしておりますので、オープニングセレモニーをやるとか、そういうことはちょっと考えられませんが、決まった時点で早めに周知していただきまして、報告をお願いいたします。以上です。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

14番 中島達也君。

○14番（中島達也君）

議第14号ですが、ちょっと理解ができませんので教えていただきたいんですが、小坂の診療所の療養病床が4月から介護医療院になるということで、制度改正なんですけど、今まで以上に細かいサービスが受けられるということなんですが、まず1点は、利用者なんですが、今療養病床を利用されている方はそのままスライドするのか、また新たな利用募集をされるのか、その辺の点をちょっと教えてください。

○議長（中島ゆき子君）

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

介護医療院の利用につきましては、現在、療養病床に入院されている方をまずは優先してそちらの介護医療院に、少し利用料が変わりますので、その辺を理解していただいた上で利用を促すという形にしております。

また、それ以外にも新たな入居者ということで、地域の医師会の先生方や介護のケアマネジャ

一さんたちにも御紹介をしながら、またそちらを希望される方を新しく募るという形で、今現在進んでいるところでございます。以上でございます。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

14番 中島達也君。

○14番（中島達也君）

ありがとうございました。

どちらにしても、サービス向上ということで、一応入居の制限はないという、期間がないということで、金山病院が一時要件がそろわずに断念されたという経緯もございしますが、こういった制度は今後も大抵必要になってくるのではないかと、より今後ともそういう方向で進めていっていただきたいと思っておりますのでお願いします。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

4番 森哲士君。

○4番（森 哲士君）

補正予算書の65ページなんですけれども、衛生費の中の塵芥処理費なんですけれども、この中で塵芥収集費の中で補正ということで、マイナスの1,272万1,000円ということになっておるんですけれども、このマイナスの要因になったことについて、また説明をしていただきたいというふうに思います。

それからあと、80ページの商工費の中の977万7,000円の寄附金なんですけれども、これは今年度の新規事業ということで企画立案をしていただいたこの成果の中で、この金額が合掌村のほうに行くということで、本当に評価される事業であったというふうに思いますし、よかったことやなということをおもっております。

その中で、このクラファンで幾らぐらいトータルで集まったのか。どちらか分かりませんが、集まったのかということと、その費用の関係で最終的に977万7,000円というのが合掌村のほうに行くということですので、その目標額が当然あったと思いますけど、目標額と、それから返礼品の金額等が分かれば、トータルでもいいんですが、教えていただければというふうに思います。以上2つ、お願いします。

○議長（中島ゆき子君）

環境部長。

○環境部長（田口 昇君）

今、御質問のありました予算書65ページの塵芥収集費1,272万1,000円の減額でございますが、これは一般家庭ごみを収集運搬する業務ということで、市内4地域に分けて、それぞれ4業者さんの方に収集運搬を契約をして行っているということでございますけれども、予算を組む段階で、物価上昇であるとか人件費なんかを見込んで、少しそれを見込んだ上で予算を計上させて

いただいておりますけれども、実質予算に対しての契約額の割合でございますけれども、93%ということございましたので、物価上昇をある程度想定以外であったというふうに認識をしております。以上でございます。

○議長（中島ゆき子君）

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

私のほうからは、クラウドファンディングの実績について答弁をさせていただきます。

まず、クラウドファンディングは、令和5年度から本格的に運用の開始をさせていただいたところでございます。今年度の寄附額の総額としましては2,367万円となっております。

対象メニューとしましては、花火、それから飛騨川公園の遊具の設置、合掌村の屋根修繕等がその対象メニューとなっております。

寄附の件数としましては、総計で632件、控除額の総計が996万5,000円ということになります。これはサイトの利用料とか返礼品の代金ということでございます。残りました差し引きの寄附額といたしましては、1,370万5,000円ということになります。

また、先ほど目標額等の御質問もございましたけれども、これにつきましては、選択するポータルサイトごとに目標の設定をさせていただいておりますので、御紹介だけさせていただきますと、合掌村ふるさとチョイスにおいては、目標金額2,000万円で募集をかけさせていただいております。冬花火につきましては、ふるさとチョイスで目標金額100万円、同じく冬花火、さとふるでは目標金額100万円、そして飛騨川公園についてはふるさとチョイスで目標金額200万円、合掌村、楽天におきましては目標金額1,000万円ということで、単純に目標金額だけを総計しますと3,400万円の目標設定をさせていただいた結果ということでございます。以上です。

〔挙手する者あり〕

○議長（中島ゆき子君）

4番 森哲士君。

○4番（森 哲士君）

ありがとうございます。

今のクラファン、令和5年度から開始した事業ですけれども、徐々にこれは盛り上がっていくというふうに思います。また来年度、再来年度というふうにつながっていただいて、このクラウドファンディングの制度がある以上、これに乗っかっていくということは大切なことだと思いますので、ぜひこのまま、またいろいろと続けていただいて、設備の改修ですとかそういったことに役立てていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。以上です。

〔挙手する者あり〕

○議長（中島ゆき子君）

12番 吾郷孝枝さん。

○12番（吾郷孝枝君）

最初に、118ページの国民健康保険事業特別会計のところでお尋ねをします。

ここの部分で、療養給付費9,881万8,000円、この増額ということになって、大変大きな増額になっているんですけども、執行部のほうはこの大きな増額分、どうしてこんなに額が増えたのかというところでどういう分析をしてみえるのか、主な理由とか説明をしてください。

それから2番目に、153ページの介護保険事業のところですか。ここで施設介護サービス給付費、これも6,757万4,000円と非常に大きな増えになっています。これが当初予算のときに、前年度と比べて当初予算のときにもう4,900万増額がされたんですね。今回またここに追加で増額ということになりますと、前年度の予算と比べますと1億円以上ここで増えている形になるんです。それでここの部分ですけども、この施設というのは、前にも質問しましたけれど、増えていないんですね、ベッド数は。それで、ここはこんなに増えてどうなのかというところをぜひ説明してください。

それから3つ目、3番目で終わりますけれども、214ページの合掌村のクラウドファンディングの部分なんですけれども、ここは出資金が977万7,000円という形で出ておりますけれども、結局合掌村への寄附総額というのが、これが目標は大きく達成して1,974万2,000円。返礼品やいろんな諸経費が996万円で、差額で差し引いた分が977万円ということなんですけれども、これは見ますと経費が50%を占めるということで、非常にこの経費の部分は、返礼品も入れてですけども、大きいなということを思うんですけども、このクラウドファンディングの仕組みもあると思いますけれども、ここのところの説明をしていただきたいと思います。

以上3点です。

○議長（中島ゆき子君）

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

私からは、118ページにあります療養諸費の増額について、その要因についてどのように考えているのかということについて御答弁を申し上げます。

まず、こちらの療養費につきましては、算定段階では令和2年度はコロナの受診控えによるものがありますので、令和2年度を差し引いた過去3年間からの平均によった医療費により予算を作成させていただいておりますが、1人当たり医療費が増額してきていることも影響しまして、今年度、今の段階で、3月までの段階で払える医療費ということで増額をさせていただいております。現在も、今申し上げましたように1人当たりの医療費が上がってきていることが要因という形で考えております。以上でございます。

○議長（中島ゆき子君）

福祉部長。

○福祉部長（野村 稔君）

補正予算書153ページの保険給付費、介護サービス等諸費の施設介護サービス給付費の金額のことでございます。6,757万4,000円、大変大きな金額ですが、これは主に特別養護老人ホームで

すとか、そういった入所施設に入所する場合の給付費になります。

議員おっしゃるとおり、市内のそういった施設、数が限られておりまして、定員もほぼいっぱいになっている状態です。このお金というのは、主に市外の施設を使われる方、そういった方の給付費になってくるというふうに分析をしております。

今後ですけれども、確かに高齢者の人口はやや微減に入っておりますけれども、要介護の方々はまだこれから増えることが予想されます。そういったことも分析しながら、施設ですとかサービスの充実につきましては、民間の方々とも力を合わせながら充実させていきたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（中島ゆき子君）

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

3点目に御質問いただいたクラウドファンディングについて、私のほうから答弁をさせていただきます。

先ほど森議員の御質問に対し、お答えをさせていただいた折に御紹介をさせていただいた数字2,367万、これは先ほどメニューとして3つほど御紹介をさせていただきましたが、これらの総額でございます。

吾郷議員から御質問いただきました合掌村に関してだけ抜き出して御説明をさせていただきますと、合掌村については、寄附額の総額が1,727万5,000円でございます。そして、返礼品と控除額の合計は749万8,000円でございます。この差引きで977万7,000円ということで、今回繰り出しをさせていただきました。

また、5割近い経費がかかっているということで、その説明ということでございました。

まず、この合掌村のクラウドファンディングについては、利用したポータルサイトとして、ふるさとチョイスというポータルサイトと楽天のポータルサイトの2つを利用させていただいております。それぞれポータルサイトによって利用料とか控除額が変わってきますので、少しだけ御紹介をさせていただきますと、まずふるさとチョイスにつきましては、ポータルサイトの利用料、それから制度設計の委託費、決済手数料、そして返礼品などを合わせまして、全てで45.5%が経費となります。また、楽天につきましては、利用料と決済手数料、返礼品などを合わせまして、41.5%が経費として控除の対象となっております。

そういったものがございますので、最終的にこういった977万7,000円ということになっておりますので、よろしく願いをいたします。以上です。

○議長（中島ゆき子君）

観光商工部長。

○観光商工部長（河合正博君）

今ほどまちづくり推進部長のほうからも御答弁がありましたけれども、5割近い経費がかかっているという話の中では、これは総務省の規定がございまして、募集に要する費用というのが寄

附受領額の5割以下とすべきというふうな規定がございます。その中で、返礼品や、そういった事務経費を含んでということになりますので、そういった中での運用としまして、どうしても5割近くになってしまうということになりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

12番 吾郷孝枝さん。

○12番（吾郷孝枝君）

順番に御答弁いただきましたけれど、最初、国保の療養給付費の増額のことでありますが、もうコロナで受診を抑制していたという方たちが、第5類になってからずっと受診されるようになったということも一つの原因、コロナの影響ということがあるのかなということも思うんですけども、そればかりじゃなくて、何か重症化とか、そういうこともやっぱりあるんじゃないかなということも考えます。これは次の保険料にこの部分が影響していくのではないかとということで、私はちょっと心配をするんですけども、その辺の考え方は大丈夫なのか、もう一度御答弁ください。

それから、介護入所施設、部長が御答弁されましたように、市内の介護入所施設というのは、もう何十年も、何十年ということでないですけども、20年、ずっとほとんど変わっていない状況で、本当は市内に皆さん入所したいという希望があっても入るところがないので、仕方なしに市外へという形、そういうことが表れていると思うんですね。でも、そのうちに周辺市外のところもいっぱいになってきますので、全体の高齢化が進んでいくということで。特に今それが下呂市では顕著に表れているということですので、ここは施設の充実を図っていくというふうにおっしゃいましたけれども、施設の充実じゃなくて、その施設の枠というのか、ベッド数を増やせるような形、人をもっと配置できるような体制、そういうことにぜひここは力を入れていかないと、本当に介護難民があふれる状態になると思いますので、ここの点、もう一度御答弁ください。

それから、合掌村のことは、そういうことも私もよく理解しているんですけども、クラウドファンディングで広く寄附を募るといふ。寄附した人たちは、寄附された金額がほとんど、見返り品は、返礼品のことは除いてでも、なるべく合掌村のいろいろなことに生かしたいという気持ちがあると思いますので、ここのところをシステムとしてもう少し寄附の在り方も考えていったらいいんじゃないかなということをお思いますので、これは申し添えておきます。

○議長（中島ゆき子君）

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

私からは、医療費の増額に対して重症化予防をしっかりとやっていくべきではないかということについて、答弁をさせていただきたいと思っております。

現在、下呂市国民健康保険では、データヘルス計画といいまして、いろいろな医療にかかっているデータを分析しまして、そこから予防可能なものを予防していく、きちんと科学的根拠に基

づいた予防をしていくという形で取り組んでございます。

今年度、第3期データヘルス計画を立てまして、その中で病気の分析をしまして、健康医療課にいる保健師、管理栄養士がきちんと重症化予防していくという形で取組をさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

○議長（中島ゆき子君）

福祉部長。

○福祉部長（野村 穰君）

病床数のことで答弁をさせていただきます。

先ほど充実と申したのは、病床数も含めてということでしたが、もう少し詳しく説明いたします。

病床数につきましては、せんだって馬瀬地域のほうで、民間事業者の方が9床の認知症専用のグループホームをつくっていただきました。そういった民間さんの動きもありますので、そういった動きも支援しながら確保していきたいというのがまず一つ。

もう一つは、以前から話題に上がっておりますが、あさぎりサニーランドの更新ということもありますので、その中でも検討してまいりたいと思います。

それからもう一つ、病床数が増えるなら、そこで働く人の確保ということも大事なことです。その点につきましても、新年度に向けて、ある程度の事業を計画しておるところでございます。以上でございます。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

10番 伊藤嚴悟君。

○10番（伊藤嚴悟君）

簡単に質問します。

コロナの関係でたしか減額になっておったと思うんですけど、人件費の関係だったと思うんですが、実態の今の状況はどんなふうや教えてもらえんかな。

○議長（中島ゆき子君）

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

コロナの予防接種の減額について、御説明をさせていただきます。

今回、コロナの予防接種の減額につきましては、接種者が少なかったということも一つの大きな要因になっておりますし、また土・日、祝日、休みの日に医療機関で接種する際に、接種促進費用という形でプラスアルファの補助をする予定でしたが、そちらが利用されなかったということも減額の大きな原因になっております。

接種率でございますが、1月18日の時点でございますが、65歳以上の方の接種率は36.2%となっております。こちらにつきましては、県下では同じぐらいですが、飛騨圏域の中では多少低い

というような状況ではございます。

この予防接種、3月31日で接種終了となりますので、まだ接種していない方で希望される方は早急に接種していただければと思いますので、そちらもよろしくお願いいたします。以上でございます。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

10番 伊藤巖悟君。

○10番（伊藤巖悟君）

ありがとうございました。

私思うに、ちょっとみんな警戒して予防接種を打たんというような声も聞くもんで、最近。けれども、やはり油断はできませんので、でき得る限りやっぱり予防接種はしたほうがいいということを感じておりますので、その辺、今言われたように、3月末までにということをやったりPRしてもらいたいとお願いいたします。以上です。

○議長（中島ゆき子君）

確認をいたします。この後も引き続き質疑のある方は挙手願います。

[挙手する者あり]

5番 田中喜登君。

○5番（田中喜登君）

2点ちょっと確認させてください。

98ページの体育施設整備事業ですが、あさぎりグラウンドでたしか照明のLED化の工事をやっていて、その分で820万円減額になっているんですけど、どういった内容が削除されたのか、どういった要因で減額になったのかを教えてください。

それから、公営企業会計はまだでしたっけ。

○議長（中島ゆき子君）

いいです。

○5番（田中喜登君）

水道事業で萩原踏切内水道管推進工事、翌年度以降に見送られたということでしたが、先ほどの3番議員の問いかけにもつながるんですけど、その工事でまた通行止め等はないのか、その辺りを教えてください。

○議長（中島ゆき子君）

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

あさぎりグラウンドのLED化について答弁をさせていただきますけれども、この減額につきましては入札の差金によるものです。一部変更はございましたけれども、基本的には入札差金の減額ということでございます。以上です。

○議長（中島ゆき子君）

上下水道部長。

○上下水道部長（今村正直君）

萩原踏切の推進工事についてですが、今まだちょっとJRと協議中でして、萩原踏切以外のところでの推進も今検討しておるところですので、もし萩原踏切になれば、当然通行止めは、数年後になろうかと思いますが、実施はするという予定であります。以上です。

○議長（中島ゆき子君）

途中ですが、ここで休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午後0時02分 休憩

午後1時00分 再開

○議長（中島ゆき子君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほど質疑は終わっておりますが、ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました議第11号から議第22号までの12件については、会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議第11号から議第22号までの12件については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、本12件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本12件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第11号 令和5年度下呂市一般会計補正予算（第12号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第11号は原案のとおり可決されました。

議第12号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第12号は原案のとおり可決されました。

議第13号 令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第13号は原案のとおり可決されました。

議第14号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第14号は原案のとおり可決されました。

議第15号 令和5年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第15号は原案のとおり可決されました。

議第16号 令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第4号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第16号は原案のとおり可決されました。

議第17号 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第17号は原案のとおり可決されました。

議第18号 令和5年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第4号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第18号は原案のとおり可決されました。

議第19号 令和5年度下呂市水道事業会計補正予算（第6号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第19号は原案のとおり可決されました。

議第20号 令和5年度下呂市下水道事業会計補正予算（第4号）、本件を原案のとおり決する

ことに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第20号は原案のとおり可決されました。

議第21号 令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第5号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第21号は原案のとおり可決されました。

議第22号 令和5年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第4号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第22号は原案のとおり可決されました。

◎市長施政方針説明

○議長（中島ゆき子君）

日程第31、市長施政方針説明を求めます。

市長。

○市長（山内 登君）

令和6年第2回下呂市議会定例会が開催されるに当たりまして、本日提案いたしました当初予算案をはじめ、各議案の御審議をお願いいたすとともに、令和6年度の施政方針、市政運営の基本方針について御説明を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に5類感染症に位置づけられ、コロナとの闘いも一つの区切りを迎えた半面、エネルギーや食料品等の物価高騰が市民生活を直撃し、今なお景気の先行きが不透明な厳しい状況が続いています。

そのような中、令和6年度は市制施行20周年を迎える大きな節目の年となります。この節目を契機に、地域の様々な課題の解決を目指す挑戦の年としてまいりたいと思います。

長期的な方針としては、SDGsの考え方にのっとり、生産年齢人口が著しく減少するとされる2040年のまちの姿から将来を見据え、具体的かつ効果的な施策に取り組んでまいります。

その中でまず取り組むべき重要課題は、これまで市の総合戦略等でもうたっておりますように、今後も人口減少対策とまちづくりであること変わりはありません。人口減少対策の柱としては、子育て支援、雇用の創出、高齢者福祉の3つに注力してまいります。

中でも雇用の創出については、人口減少に直結する喫緊の課題として重点的に取り組みます。

具体的には、人口減少社会を支える重要な職種である介護・看護・保育に関わる人材確保に関する支援、移住定住、Uターン推進に関する支援、企業の求人活動に対する支援について、新規、拡大事業を含め積極的に展開することで、下呂市を支える労働力の確保に努めてまいります。

まちづくりについては、人口減少社会における行政サービスを確実に提供できる環境づくりの

ため、各地域の中心部を生活拠点として位置づけ、公共施設等の適正規模、適正配置等を進めつつ、ネットワークで結ぶ持続可能なまちづくりを目指してまいります。

具体的には、将来的に人手不足が予測される中において、医療や福祉などを安定的に提供するための施設整備や、各種産業の活性化のための事業化を進めます。また、各地域の中心部を拠点とした交通網、デジタル通信網、人とのつながりを含めたネットワークを構築します。公共施設は老朽化が進み、これら全ての施設を改修することは困難です。そのため、将来人口を見据えた公共施設の適正再配置を進めてまいります。ただし、単なる施設の削減を進めるものではなく、官民連携を基本とした公共施設の有効活用を図ってまいります。

令和5年に引き続きSDGs、GX（グリーントランスフォーメーション）、DX（デジタルトランスフォーメーション）の3つのキーワードを念頭に進めていくことが重要であると考えております。

SDGsについては、令和6年度に策定する第3次総合計画において、将来の具体的な推計を基に目指すまちの将来像を定め、そこから逆算して施策を展開し、効果検証をしながら進めるというバックキャストというSDGsの考え方を取り入れ、策定を進めてまいります。

GXについては、脱炭素に向けた森林整備はもとより、市民の皆様の経済的負担を軽減しながら、同時にごみの総出量を抑制するための具体的な取組を継続してまいります。

DXについては、自治体DXのさらなる活用による効率化、行財政改革を進めてまいります。

これら3つのキーワードを施策にしっかりと反映することで、未来につながる持続可能なまちづくりを目指してまいります。

以上の方針を踏まえ、令和6年度の重点的な取組について、下呂市第2次総合計画に掲げる7つの基本目標に関連する分野ごとに御説明いたします。

1つ目は、健康福祉に関する取組についてです。

まず、子育て支援については、市内の公園には子供が遊べる遊具がないといった声を受け、今年度中に飛騨川公園内において児童用大型複合遊具や乳幼児用遊具の整備を行い、4月にはオープンする予定です。さらに令和6年度には、金山地域のふれあいパークを市南部の拠点公園として整備し、児童用複合遊具やバリアフリートイレを設置する予定です。また、萩原地域に児童館、子育て支援センター、教育支援センター等の機能を併せ持つ新たな子育て支援施設を6月より開設いたします。乳幼児のお子様を持つ保護者の方や、園児や高校生など様々な世代の方に利用していただける施設にしたいと考えております。

また、ハード面だけにとどまらず、子育て世帯に対するソフト面の支援も強化してまいります。従来、第2子から支給されていた出産祝い金を第1子から支給するとともに、第2子以降の支給額も増額いたします。このほか、第3子以降の未満児保育料の無償化、学校給食の食材料費価格高騰に対する支援も行います。こうした子育てに関するハード面・ソフト面をより充実させることで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを進めてまいります。

高齢福祉については、依然として介護に従事される方の人手不足が続いています。将来推計における介護需要は人口減少に反して今後も増加するという見込みであることから、介護人材確保についてさらに強化してまいります。

具体的には、令和6年度より新たな取組として、介護の現場を知っていただくことを目的としたホームページの開設や介護実習を受けた方への宿泊券の給付など、介護の現場で働くきっかけづくりや関係構築の機会を創出いたします。さらに、介護の現場で働く外国人を受け入れる施設への支援や職員のキャリアアップにつながる支援など、様々な支援を拡大してまいります。

現在、萩原地域に所在している特別養護老人ホームあさぎりサニーランドについては、施設建設から40年以上が経過し、老朽化や近年の豪雨災害時の避難状況などを踏まえて、当該施設の将来的な建て替え計画についても早急に検討してまいります。

障がい福祉については、現在、障がい児の早期治療や、機能回復のための通院・通所に係る交通費の一部を助成しておりますが、令和6年度より身体障害者手帳等をお持ちでなく、障害児通所受給者証のみをお持ちの場合でも交通費助成の対象となるよう制度を拡大いたします。引き続き、近年の障がい福祉分野において、複雑・多様化する課題の解決に向けて、地域の関係機関とも連携しながら、誰もが自分らしく安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。

医療については、医師をはじめとした医療従事者の確保に引き続き力を入れて取り組みます。また、医療DXを活用したオンライン診療の実装に取り組むとともに、県立下呂温泉病院と市立金山病院のさらなる協力・連携体制の構築に向けて、県をはじめ関係機関を交えて協議を進め、地域医療の確保を図ってまいります。

加えて、医療負担の軽減にもつながる健康づくりにも注力し、着実に成果を上げている下呂・減塩・元気大作戦による減塩の推進と、クアオルト健康ウォーキングによる運動支援の推進など、個人の健康増進を図り、健康寿命の延伸を目指します。

2つ目は、教育・文化に関する取組についてです。

まず、教育分野では子供たちにとってよりよい教育環境を提供することを大前提に、安全・安心な学校施設の維持管理に努めつつ、保護者や地域の方々の御理解をいただきながら、将来的な小・中学校の在り方について、今後も丁寧に議論をしていく必要があります。

こうした社会情勢に対応するための取組を検討する一方で、ICT環境の整備や教職員の働き方改革、子供たちの可能性を広げるための部活動の地域移行なども引き続き行ってまいります。

また、こども園や小・中学校の連携を充実させるとともに、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を核とした担い手づくりの活動を推進し、学校教育をより充実させる取組を進めてまいります。

次に、市の文化財保護について、人口減少社会において歴史文化を守り伝える担い手が不足し、文化財の滅失や散逸の危険性が高まっています。地域の伝統文化や文化財を確実に次世代に継承するため、令和6年度からは新たに教育委員会事務局内に文化財保護を担当する課を設置し、これまで以上に文化財を守り継承する体制を整えるとともに、地域資源でもある文化財を有効活用

し、持続可能で魅力あるまちづくりの推進に取り組んでまいります。

また、令和6年度は国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭として、「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催が予定されており、地域の文化芸術に対する関心も高まることが期待されます。これを契機として南飛騨健康増進センター周辺エリアの活性化も含めた文化芸術の振興を図ってまいります。

3つ目は、安心・安全に関する取組についてです。

元日に発生した能登半島地震では多くの方が犠牲となり、今もなお不自由な避難生活を強いられている方が数多くお見えになります。まずもって衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

地震災害は、阿寺断層の上で暮らす我々にとっても、決して他人事ではないことから、いつ起こるか分からない災害に対し、市民の皆様が安心して暮らしていただけるよう、災害対策についても力を入れて取り組んでまいります。

具体的には、令和7年度から予定している防災行政無線のデジタル化に併せて、お持ちの携帯電話で情報を受信できる防災アプリを導入するほか、災害用トイレや電気を使用しないストーブ、スポットクーラーなどの避難所用品の整備や、その他不足する防災倉庫を2か所建設するなど、備蓄品等の増強を行います。

また、災害が起きた際、市民全員で対応できるオール下呂体制を構築するため、自助・共助の強化も同時に行っていきたいと考えています。災害発生当初はオール下呂でのしご、すぐに外部からも応援が入っていただけるよう、企業や自治体等との応援協定も数多く進めてまいります。消防の分野について、常備消防におきましては、消防救急デジタル無線の機能強化を伴う更新を行い、消防救急活動に必要な無線網を整備し、大規模な災害時にも緊急消防援助隊の円滑な受援体制の構築に努めてまいります。

4つ目は、市民の参画・協働によるまちづくりに関する取組についてです。

地域のまちづくりについては、高齢化、人口減少により自治会や集落を構成する世帯数が減少し、地域によっては様々な課題の解決に向けた取組が十分にできない状況が生まれ、コミュニティーの希薄化なども相まって災害時の緊急対応や日頃の安否確認などが従来よりも困難になりつつあります。市では、こうした課題を踏まえ、地域が持つ力の強化・維持に向けて、地域住民が自ら主体的に取り組む、運営する新たな仕組みづくりについて検討を進めてまいります。

また、移住定住については、令和6年度新たに下呂市を離れた方々のUターンを促す奨励金制度を導入いたします。この制度を活用することで、親族や地域の方々が下呂に帰ってくるよう声かけしやすい環境づくりにつなげてまいりたいと考えております。

それから、多文化共生、多様性の尊重に関する取組についてです。

市内にお住まいの外国人住民は現在780人余で市の全人口のおよそ2.5%を占め、年々増加傾向にあり、その国籍も多様化しています。令和6年度は地域で共に暮らす外国人との交流を目的とした日本語交流サロンの開催や多文化共生専門員の配置、窓口での通訳機の設置、外国人に分かりやすい、易しい日本語の職員向け研修など、多文化共生に関する事業を拡大いたします。

また、LGBTQなど性的少数者に対する理解を深めるための講演会の開催やパートナーシップ制度の導入を検討するなど、性別、国籍、障がいの有無等に関わりなく、多様な在り方を互いに認め合い、自分らしく生き生きと暮らせる社会の形成に努めてまいります。

5つ目は、地球温暖化など環境問題に関する取組についてです。

GX（グリーントランスフォーメーション）については、太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利用を促進しつつ、経済、社会、産業構造などの変革を通じて温室効果ガスの排出量を削減することで、緑豊かな自然環境を保全し、持続可能な社会を形成していこうという取組です。

市では、脱炭素に向けた取組として、令和6年度にゼロカーボンシティ宣言を表明する予定であり、CO₂削減に向けた資源ごみの回収など、ロードマップに沿った持続可能社会を目指した取組を進めてまいります。

6つ目は、基盤整備などの公共インフラに関する取組についてです。

地域の市道、河川、排水路等の老朽化や維持・補修の必要性については、各自治会と地元の方々から多くの御要望をいただいております。市民の方々が安心・安全に暮らせる環境整備として、こうした御要望に迅速に対応していくことも急務です。市では今年度から、これら要望の解決に向けた予算を倍増しており、令和6年度においても引き続き迅速な問題解決に取り組んでまいります。

道路交通網の整備については、濃飛横断自動車道の中津川工区の早期完成や堀越峠道路和良工区の早期着工。また、市の大動脈である国道41号の屏風岩改良や門原防災の早期完成、三原防災の早期事業化。さらには下呂ー中津川間のルートの決定と早期事業化など、道路、インフラや交通網の整備を強力に進めてまいります。

公共交通については、高齢者社会に対応した公共交通の仕組みとして、デマンドバスを運行する地域において、予約すれば自宅からでも医療機関やスーパー等の目的地まで直行できるようにします。

具体的には、デマンド馬瀬から順に市内で運行方式を改善し、さらに小坂地域ではAコープ撤退後の買物ニーズに応えるため、デマンド小坂の運行ルートを萩原地域まで延長します。

また、持続可能な地域の公共交通を構築するため、交通事業者や地域の方々と協議しながら、新たな下呂市地域公共交通計画を策定いたします。

上下水道については、能登半島地震でもその重要性が再認識されたところです。この分野は人口減少等による収入の減少が続いていることや、将来的な施設、機械整備の更新や耐震化に多額の費用が必要になること等を踏まえると、今後も安定的に運営していくための財源確保が大きな問題となっています。

このため、水道料金を4月から市内統一料金とするとともに、施設と、特に重要管路の更新に向けた取組を加速させつつ、下水道料金についても料金改定に向けた取組を進めてまいります。こうした料金改定による安定的な収入確保を図るとともに、施設の維持管理等を含めた一体的な

改革で事業を継続する仕組みづくりを進めてまいります。

市営住宅には、住宅困窮世帯向けの住宅セーフティネットとしての役割があります、その一方で、今後は人口減少に向かって空室が発生すると見込まれるため、そうした空室を下呂市に来て働く方への住宅提供に活用することで、市内企業の雇用促進につなげる取組を行います。また、国の制度を活用しながら、市内で増えていく空き家を市が借り上げて移住定住の促進を目的とした市営住宅として賃貸する新たな制度の創設も検討してまいります。そのほかにも、高齢者社会に対応した市営住宅の在り方など、将来の地域課題やニーズに即した市営住宅施策の再構築を図ります。

DX（デジタルトランスフォーメーション）については、令和6年度からは市役所のシステム刷新により、業務のさらなる効率化、ペーパーレスなどによる低コスト化を推進してまいります。さらに、下呂市は全国で12番目、東海3県では初となるノーコード宣言シティを宣言したことから、プログラミングの知識がなくてもシステムをより構築しやすくなるノーコードツールの活用による市独自のシステム構築など、これらの積極的な取組を通じてDX先進都市として全国のモデルとなる都市を目指します。

最後に、7つ目は産業経済に関する取組についてです。

商工の分野では、地元経済界及び各地域の商工会と連携を強化しながら、新たに市内事業所に就職された方への就職奨励金制度を導入します。

また、奨学金の返還支援についても県の新たな支援制度への対応も視野に入れながら、より手厚い支援ができるよう検討を進めてまいります。こうした支援により、求職者が市内での就職を検討するきっかけをつくり、さらに市内事業者の求人活動を支援することで、労働力不足の解消につなげてまいります。

ふるさと納税については、寄附額が令和元年度は約1億9,000万円だったものが令和5年度では約9億8,000万円と4年で約5倍の伸びを見せており、令和6年度においてもこれらを市の重要な財源と捉え、さらなる寄附額の増額、下呂市の魅力発信、ファンの獲得に努めてまいります。観光の分野では、下呂温泉が旅のプロが選ぶ温泉ランキングにっぽんの温泉100選にて3年連続で全国第2位に選出されました。観光事業は市の経済を支える主要な産業であることから、観光振興にも一層力を入れて取り組んでまいります。今後の日本全体のインバウンド需要の増大を見据え、関係業界と連携して本格的なインバウンド誘致事業を展開いたします。

また、市内の中高生を対象とした観光教育事業を新たに実施することで、地元で活躍する観光産業に関わる人材を育成してまいります。さらに、市内のホテルや旅館に宿泊する方に課税される宿泊税については、令和7年度の導入を目指してまいります。この財源は下呂市が観光立地として発展していくために観光振興を図り、お客様の満足度を上げることに活用してまいります。

令和5年度に実施した景観まちづくりについては、住民の皆様と一緒に下呂温泉の歴史的背景を理解しながら、地域の誇りを感じられるまちづくりを進めることを目的とした下呂温泉松原通り景観まちづくり協定を締結することができました。令和6年度は立地適正化計画を策定し、こ

れに基づくメニューを活用し、景観まちづくりを進めます。下呂駅のバリアフリー化、旧下呂温泉病院跡地整備を含め、にぎやかで活気ある温泉街づくりを進めてまいります。

また、「飛騨小坂～自然のめぐみを体験、滝めぐり、湯めぐり」が県のぎふ未来遺産に認定された小坂地域、横谷峡四つの滝や筋骨めぐりが人気の金山地域、今年度、アユの全国品評会でグランプリを受賞した馬瀬地域など各地域の観光振興の開発にも力を入れてまいります。

そして、下呂市内の広大な土地を背景とした農業、林業といった第1次産業についても大変重要と考えており、農業、林業の担い手確保の促進や森林整備についても引き続き着実に推進してまいります。

農畜産業につきましては、地域農業を守るため、引き続き担い手の確保と支援に力を入れ、時代に即したSDGsへの対応として、循環型農業など持続可能な農業と地産地消などの取組に対する支援を強化してまいります。

また、水産業につきましては、県内各地で問題となり、市内においても生息が確認されているコクチバスの駆除について対策を講じてまいります。

林業については、森林環境譲与税を活用し、引き続き森林整備や市産材の利用を進めます。また、来年度からこの森林環境譲与税の財源として1人年額1,000円の課税が始まることから、この貴重な財源をどのように活用しているのか、市民の皆様に伝わりやすい事業にも新たに取組みます。

1つ目として、下呂市内で生まれたお子様に対し、市内の木工関連の事業者が作成したおもちゃなどの木製品をプレゼントし、幼い頃から下呂の木に触れることで下呂の森林を思う心を育むとともに、市産材の利用促進を図ってまいります。

2つ目として、昨年、萩原町跡津の県道沿いでモデル的に沿道伐採を実施したところ、安全性、景観が大幅に改善し、高い評価をいただきましたので、令和6年度以降はこの沿道伐採を事業化し、年に1か所程度ではございますが、整備を進めてまいります。

以上、主要な事業の一部についてその概要を申し上げます。

令和6年度の一般会計の歳入歳出予算は234億3,000万円で、前年度対比5億4,000万円、2.4%の増であり、合併後過去4番目の予算規模となりました。市の歳入の根幹をなす市税は、市民税の定額減税の影響から昨年度と比べて1億98万円減額して計上しておりますが、宿泊客の回復から入湯税の増額を見込むなど、定額減税を除けば昨年度とほぼ同額を計上しております。

また、地方交付税は国の方針に基づき、一般財源の確保が適切になされたものの、市債の償還状況等を考慮し、過大な見積もりとならないよう1億5,500万円の減額で計上しておりますが、不足する財源については安定的な収入が見込めるようになったふるさと寄附金の当初予算での計上や、過疎債等の有利な市債の発行、財政調整基金をはじめ、ふるさと寄附を原資としたふるさと応援基金からの繰り入れや、地域振興やまちづくりのために積み立てた地域振興基金からの繰り入れなど、活用可能な財源を最大限活用した予算編成としました。

また一方で、財政運営の基本方針に掲げる市債発行額は、公債費の償還額以内にとどめるとい

った財政の健全化に配慮し、必要な事業の推進に対し、その範囲内での市債計上としております。今後も計画的な基金積立て、基金活用、宿泊税の導入といった財源の確保など、持続的な財政運営に向けた取組も同時に進めてまいります。

組織体制については、令和4年度に大幅な改編を行い、令和5年度までの2年間で状況の変化や市民ニーズを踏まえた必要な見直しを行ってまいりました。令和6年度は、現在策定中の第三次総合計画の着実な遂行のための組織の在り方について検討し、令和7年度の再編を目指します。このような中であっても、施策を進める上で、専門性や効率性が求められることから、実情に見合った実効性のある見直しを行います。

具体的には、文化財に光を当て、観光に結びつけていくための組織強化として文化財課、地域の医療施策や体制づくりのための組織強化として医療課、職員確保と育成を強化するための組織強化として人事課、市の施策を国や県につなげ、連携していくためのプロモーション課を設置するとともに、加速する高齢化に対処するための組織強化として、高齢福祉課内に包括支援センターを独立させることなど、体制強化に努めてまいります。

以上、令和6年度の市政運営の基本方針並びに主要な施策の概要等について御説明申し上げますが、こうした施策の推進に当たりましては、議員各位をはじめ市民の皆様の御理解、御協力が必要不可欠と考えております。市民の皆様との取組を大きな力に変えて、皆が安心して住み続けられる持続可能な下呂市の実現に向け今後も全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。令和6年度の施政方針の御説明とさせていただきます。ありがとうございました。

◎議第23号から議第39号までについて（議案説明・質疑・委員会付託）

○議長（中島ゆき子君）

日程第32、議第23号 証明書の交付等に関する事務の委託の廃止について、日程第33、議第24号 市道の路線変更について、日程第34、議第25号 下呂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、日程第35、議第26号 下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、日程第36、議第27号 下呂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について、日程第37、議第28号 下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について、日程第38、議第29号 下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例について、日程第39、議第30号 下呂市立休日診療所設置条例の一部を改正する条例について、日程第40、議第31号 下呂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、日程第41、議第32号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について、日程第42、議第33号 下呂市道路占用料条例の一部を改正する条例について、日程第43、議第34号 下呂市水道事

業給水条例等の一部を改正する条例について、日程第44、議第35号 下呂市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、日程第45、議第36号 下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について、日程第46、議第37号 下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例について、日程第47、議第38号 令和6年度下呂市水道事業会計への繰出について、日程第48、議第39号 令和6年度下呂市下水道事業会計への繰出について、以上17件を一括議題といたします。

初めに、議第23号について提案理由の説明を求めます。

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

議案書39ページをお願いいたします。

議第23号 証明書の交付等に関する事務の委託の廃止について。

次のとおり証明書の交付等に関する事務の委託の廃止について、議決を求める。

1. 廃止する事務の委託、戸籍謄本等の証明書の交付等に関する事務。2. 廃止する日、令和6年3月31日。3. 廃止する理由、戸籍証明書等の広域交付制度の開始に伴い、全国の市町村で交付が可能となったため、下呂市と高山市、飛騨市、白川村との間の証明書の交付等に関する事務の委託が不要となったことによるもの。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。地方自治法第252条の14第3項において、準用する同法第252条の2の2第3項の規定により議決を求めるものでございます。

以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第24号について提案理由の説明を求めます。

建設部長。

○建設部長（大前栄樹君）

議案書の41ページをお願いします。

議第24号 市道の路線変更について。

次のとおり市道の路線を変更することについて、道路法第10条第3項の規定により、議会の議決を求める。

路線を変更する市道は、路線名、中北1号線でございます。起点、下呂市萩原町花池字中北338番2から、終点、下呂市萩原町花池字中北328番まででございますが、これを新しく、起点、下呂市萩原町花池字中北338番2から、終点、下呂市萩原町上村字竹之上74番3地先までと終点のみの変更をするものでございます。令和6年2月22日提出。

提案理由は、新たに整備された道路へ路線を変更するものでございます。

43ページを開きください。

路線変更についてお示ししておりますので御覧ください。

変更後の起点・終点につきましては、今ほど申し上げたとおりで、変更前の路線延長99.5メー

トルが、変更後は120.1メートルとなり、行き止まりとなっていた市道が住宅地へ通り抜けができる路線となるものでございます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

次に、第25号から第27号までの3件について提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（今瀬成行君）

議案書の45ページを開きください。

議第25号 下呂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について。

下呂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。地方自治法の改正に伴う会計年度任用職員の勤勉手当の支給に関する見直し及び国の令和5年人事院勧告に準じて必要な見直しを行うため、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要といたしましては、第1号会計年度任用職員の報酬の引上げ、第2号会計年度任用職員の給与の引上げ、第1号及び第2号会計年度任用職員それぞれの期末手当支給率の引上げ及び勤勉手当の支給を規定するものです。

附則関係では施行日を規定いたします。

次に、57ページをお願いいたします。

議第26号 下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について。

下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としましては、条例第7条で会計年度任用職員に対する勤勉手当を育児休業中でも支給できるように改めます。

附則関係では施行日を規定いたします。

次に、61ページをお願いいたします。

議第27号 下呂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について。

下呂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としましては、使用する用語の意義を法において使用する用語の意義の引用とします。

法別表第2が削除されるため、文言を法の表記に倣い改めるものです。

附則関係では施行日を規定いたします。

以上でございます。3議案について御審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第28号について提案理由の説明を求めます。

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

それでは、議案書の75ページをお開きください。

議第28号 下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について。

下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。老朽化した市営住宅を用途廃止するため、当該条例の一部を改正するものです。

概要としましては、別表（第3条関係）の御滝団地4戸を削除いたします。

この条例は、公布の日から施行するものでございます。

以上でございます。御審議のほどよろしく願いをいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第29号について提案理由の説明を求めます。

地域振興部長。

○地域振興部長（小池雅之君）

議案書の79ページをお願いいたします。

議第29号 下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例について。

下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。休止している当該施設を有効活用するため、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としましては、当該施設は令和3年3月末に指定管理者が撤退した以降、休止状態となっており、再開及び活用のめどが立っておらず、昨年度から行政財産の目的外使用許可を適用し、市民の皆さんに御利用いただいておりますが、特例的な処置であることから、指定管理者から市の直営とし、貸館施設として設置目的を改め、基本使用料の額について定めることで市民の施設への活用・利用を図るものでございます。

以上でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第30号について提案理由の説明を求めます。

市民保健部長。

○市民保健部長（森本千恵君）

議案書91ページをお願いいたします。

議第30号 下呂市立休日診療所設置条例の一部を改正する条例について。

下呂市立休日診療所設置条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。下呂市休日診療所の収入を一般会計で運営する場合において、歳入予算科目は地方自治法施行規則第15条別記の規定が適用されるため、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としましては、第6条並びに第7条で、診療所収入の名称を利用料から使用料に改めるもので、附則関係で施行日を定めるものでございます。

以上、御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第31号について提案理由の説明を求めます。

福祉部長。

○福祉部長（野村 穰君）

議案書の95ページをお願いいたします。

議第31号 下呂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について。

下呂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としては、こども園等の特定教育・保育施設における運営規程の概要ですとか、職員の勤務体制、利用者負担などの保護者が施設選択するときに必要な重要事項については、保育施設に掲示するとともに、インターネットを利用して公開することを義務づけるものでございます。さらに、インターネットを利用した記録、書類作成、文書保存等に関する規定を定めるものでございます。

施行日は、令和6年4月1日としております。

以上でございます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第32号について提案理由の説明を求めます。

観光商工部長。

○観光商工部長（河合正博君）

それでは、議案書の105ページを御覧ください。

議第32号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由です。地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の一部を改正するものです。

なお、この一部改正では、下呂市監査委員条例、下呂市下呂温泉合掌村条例、下呂市水道事業、簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例並びに下呂市国民健康保険病院事業の設置に関する条例が関係しておりますが、一部改正に係る理由が同一ですので、4つの部署を代表して私から提案説明をさせていただきます。

概要です。職員の賠償責任に関する規定等で、地方自治法第243条の2の2を引用している関係条例について、公金事務の私人への委託に関する制度の見直しにより、地方自治法第243条の2から第243条の6が追加されたことに伴い、条ずれをしたため、地方自治法第243条の2の8に改めるものです。

以上御審議のほどお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第33号について提案理由の説明を求めます。

建設部長。

○建設部長（大前栄樹君）

議案書の109ページを開きください。

議第33号 下呂市道路占用料条例の一部を改正する条例について。

下呂市道路占用料条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。提案理由でございます。電線共同溝に係る占用料等の規定を追加するため、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としましては、新たに電線共同溝を設置したことによる占用料につきまして条例を整備するものでございます。

附則関係では施行日を規定するものでございます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第34号及び議第35号について提案理由の説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（今村正直君）

議案書の115ページを開きください。

議第34号 下呂市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について。

下呂市水道事業給水条例等の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由です。水道法の一部改正に伴い、当該条例の一部を改正するものです。

概要としましては、水道法の所管が厚生労働省から国土交通省に移管されるため、関係条文を改めるものです。

続いて、119ページを開きください。

議第35号 下呂市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について。

下呂市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由です。下水道事業会計の経営改善のため、不採算となっている小規模処理区を集合処理施設から個別処理施設へ事業転換することに伴い、当該条例の一部を改正するものです。

概要としましては、萩原町尾崎地区にあります和田地区小規模集合排水処理施設を個別処理施設に転換するため削除するものでございます。

以上に2件について御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第36号及び議第37号について提案理由の説明を求めます。

消防長。

○消防長（齋藤 進君）

それでは、議案書の123ページをお開きになってください。

議第36号 下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について。

下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としまして、下呂市消防団員等の補償基礎額を改めます。また、消防作業従事者等の補償基礎額の最低額の引上げを行います。

附則関係では施行日を規定します。

次に、127ページをお願いします。

議第37号 下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例について。

下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、当該条例の一部を改正するものでございます。

概要としまして、別表関係で、特定の屋外タンク貯蔵所の設置の許可に係る手数料を改めます。
また、移動式製造設備の設置の許可等に係る手数料を追加します。

附則関係では、施行日を規定します。

以上、2議案について御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（中島ゆき子君）

次に、議第38号及び議第39号について提案理由の説明を求めます。

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

それでは、議案書の133ページを開きください。

議第38号 令和6年度下呂市水道事業会計への繰出について。

地方財政法第6条の規定により、令和6年度下呂市一般会計は、次のとおり令和6年度下呂市水道事業会計へ繰り出しするものとする。

繰出額1億4,520万7,000円。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。簡易水道事業について料金収入等の全ての収入を充てても経常損失が見込まれるため、簡易水道事業債元利償還金全額について、繰り出し基準を超えて繰り出しすることについて議会の議決を求めるものでございます。

引き続き、135ページをお願いいたします。

議第39号 令和6年度下呂市水道事業会計への繰出について。

地方財政法第6条の規定により、令和6年度下呂市一般会計は、次のとおり令和6年度下呂市下水道事業会計へ繰り出しするものとする。

繰出額2億312万1,000円。令和6年2月22日提出。

提案理由でございます。料金収入等の全ての収入を充てても不足する下水道施設の維持管理等に必要な経費を繰り出しすることについて、議会の議決を求めるものでございます。

説明は以上でございます。以上2議案について御審議のほどよろしくお願いをいたします。

○議長（中島ゆき子君）

これより本17件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者あり]

11番 一木良一君。

○11番（一木良一君）

議第29号の79ページなんですけど、下呂市ゆったり館の条例の一部を改正する条例についての中で、今休止中のゆったり館を有効活用するというのは大変結構なことだと思います。これについて、市民から多くの要望があったのかどうかということをお聞きしたいと思います。

そして、施設を、使用時間が午前9時から午後10時までというふうになっておりますが、ここに入浴施設もあるわけです。この入浴施設に関しては、どういう利用をされるか、利用されない

のか、その辺のこともお聞きしたいと思います。

○議長（中島ゆき子君）

地域振興部長。

○地域振興部長（小池雅之君）

ゆったり館につきましては、地域からの施設の存続の要望は強いということで伺っております。ただ、現状使用されないままでは施設の老朽化等もしていきますので、引き続き市民の活用をしていきたいということでございます。

温泉施設につきましては、既に相当な日数を経過しておりまして、現状のまま活用することは難しいということで、今回の使用規定の中からは除外をさせていただいておるということでございます。以上です。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

11番 一木良一君。

○11番（一木良一君）

入浴施設は利用しないということで結構かと思いますが、これは利用するしないに関わらず、この施設の維持管理費というものは相当かかってくると思います。それについて具体的にどの程度の費用が発生してくるか、その見込額について分かればお聞きしたいと思います。

○議長（中島ゆき子君）

地域振興部長。

○地域振興部長（小池雅之君）

現状の中での維持管理費ですが、260万ほどかかっているという状況でございます。使用見込みにつきましては、これまでは目的外使用ということで、金額についても定めがないので、市民にも周知が非常にしづらかったという部分がございます。これを今回の改正によって市民にもしっかりと金額を提示しながら利用していただくということで、積極的な活用を図っていきたいというふうに思っておるところでございます。

あと、利用料につきましては、本年度におきましてはマルシェで2回、金山まつりの中で1回ということで3回の利用をしていただいておりますけれども、こういった目的外使用よりも今回の規定は公民館規定のほうを準用するような料金設定をさせていただいておりますので、これよりも安い金額で御利用いただけるような格好になる予定でございます。

[挙手する者あり]

○議長（中島ゆき子君）

11番 一木良一君。

○11番（一木良一君）

改めてお聞きしますが、入浴施設のほうですね、給湯管のほうは完全に使用というのは不可能なのかどうか、この辺の見解について伺います。

○議長（中島ゆき子君）

地域振興部長。

○地域振興部長（小池雅之君）

これまでも事業者等に活用いただけないかというような御提案もさせていただいておるところですけれども、やはりこういった部分の施設修繕に相当な金額を要するというので、なかなかそういった活用というところまでの手が挙がらないというような状況でございます。

実際にその今の施設が完全に使えないのかどうかにつきましては、また予算特別委員会の中で御説明させていただければなと思います。

現施設の給湯管等が完全に使えないかどうかについては、ちょっと詳細を把握しておりませんので、また特別委員会のほうで説明をさせていただきたいと思います。

○議長（中島ゆき子君）

ほかに質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

これで質疑を終結いたします。

議第23号から議第39号までの17件については、お手元に配付してあります付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

ここで休憩いたします。再開は午後2時25分といたします。

午後2時12分 休憩

午後2時25分 再開

◎議第40号から議第51号までについて（議案説明・質疑・委員会付託）

○議長（中島ゆき子君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第49、議第40号 令和6年度下呂市一般会計予算、日程第50、議第41号 令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算、日程第51、議第42号 令和6年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算、日程第52、議第43号 令和6年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算、日程第53、議第44号 令和6年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算、日程第54、議第45号 令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）予算、日程第55、議第46号 令和6年度下呂市下呂財産区特別会計予算、日程第56、議第47号 令和6年度下呂市学校給食費特別会計予算、日程第57、議第48号 令和6年度下呂市水道事業会計予算、日程第58、議第49号 令和6年度下呂市下水道事業会計予算、日程第59、議第50号 令和6年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算、日程第60、議第51号 令和6年度下呂市立金山病院事業会計予算、以上12件を一括議題といたします。

議第40号から議第51号までの12件について、提案理由の説明を求めます。

まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（田谷諭志君）

それでは、ただいま上程されました議第40号 令和6年度下呂市一般会計予算から議第51号 令和6年度下呂市立金山病院事業会計予算まで一括で説明を申し上げます。

まずは一般会計予算書の1ページを開きください。

議第40号 令和6年度下呂市一般会計予算でございます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ234億3,000万円と定めるものでございます。

第2条の債務負担行為は、第2表 債務負担行為、第3条の地方債は、第3表 地方債によるものでございます。

第4条は、一時借入金の借入最高額を15億円と定めるものでございます。

第5条は、歳出予算の流用について定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

2ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

まずは、歳入の主なものについて御説明を申し上げます。

1款市税は42億438万9,000円、2款地方譲与税は4億3,214万2,000円、7款地方消費税交付金は8億円を計上しました。

3ページをお願いします。

10款地方特例交付金は1億4,000万円、11款地方交付税は86億2,148万円で、内訳として普通交付税は80億2,148万円、特別交付税は6億円を計上しました。

13款分担金及び負担金は1億1,099万6,000円、14款使用料及び手数料は3億9,914万4,000円、15款国庫支出金は21億5,288万9,000円を計上しました。

4ページをお開きください。

16款県支出金は13億1,779万3,000円、19款繰入金は14億4,226万7,000円、20款繰越金は4億円、21款諸収入は5億8,623万4,000円。

5ページをお願いします。

22款市債は21億7,378万6,000円を計上しました。

6ページをお開きください。

歳出でございます。

1款議会費は1億3,043万1,000円、2款総務費は38億4,093万円、3款民生費は54億1,901万円、4款衛生費は33億4,791万円、5款労働費は1,847万3,000円を計上しました。

6款農林水産業費は16億7,060万8,000円で、内訳として、農業費は11億444万円を、林業費は5億6,616万8,000円を計上しました。

7ページをお願いいたします。

7款商工費は10億5,058万1,000円、8款土木費は22億8,990万3,000円、9款消防費は13億3,652万1,000円、10款教育費は18億882万1,000円を計上しました。

8ページをお開きください。

12款公債費は24億5,536万9,000円、14款予備費は3,000万円を計上しました。

続いて、9ページをお願いします。

第2表 債務負担行為でございます。令和6年度におきましては、21件の債務負担行為を予定しております。

次に、11ページをお開きください。

第3表 地方債で、臨時財政対策債のほか、公共施設整備事業、環境衛生施設整備事業、道路橋梁整備事業などで21億7,378万6,000円を限度額として借入れを予定しており、起債の方法等は掲載のとおりでございます。

13ページをお願いいたします。

13ページ以降の歳入歳出予算事項別明細書につきましては、予算特別委員会におきまして御審議をいただくことになるかと思いますので、説明を省略をさせていただきます。

少し飛びますが、289ページをお開きください。

ここからは、特別職、一般職、会計年度任用職員を含みますが、こちらの給与費明細書でございます。

少し飛びますが、302ページをお開きください。

ここから307ページまでは、債務負担行為の当該年度分と過年度分の調書でございます。

308ページをお開きください。

地方債の調書で、表の右下が令和6年度末の起債残高見込額で、223億6,496万円でございます。

以上で、一般会計予算についての説明を終わらせていただき、引き続き特別会計と公営企業会計について説明を申し上げます。

それでは、令和6年度下呂市特別会計及び下呂市公営企業会計予算書の1ページをお願いいたします。

議第41号 令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算でございます。

第1条は、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ31億4,675万円と定めるものでございます。

第2条は、一時借入金の借入最高額を1億円と定めるものでございます。

第3条は、歳出予算の流用について定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

2ページを御覧ください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

歳入の主なものは、1款国民健康保険税5億5,938万6,000円、6款県支出金22億5,371万7,000円、9款繰入金3億320万7,000円、10款繰越金3,000万円を計上いたしました。

4ページをお開きください。

歳出の主なものは、2款保険給付費21億7,107万8,000円、3款国民健康保険事業費納付金8億1,799万4,000円を計上いたしました。

続きまして、39ページをお開きください。

議第42号 令和6年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算でございます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億7,970万円と定めるものでございます。

第2条は、一時借入金の借入最高額を5,000万円と定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

40ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

歳入の主なものは、1款後期高齢者医療保険料4億7,618万4,000円、4款繰入金1億8,165万円を計上しました。

41ページをお願いいたします。

歳出の主なものは、2款後期高齢者医療広域連合納付金で6億5,009万8,000円を計上いたしました。

次に、51ページをお開きください。

議第43号 令和6年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算でございます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億979万円と定めるものでございます。

第2条は、一時借入金の借入最高額を5,000万円と定めるものでございます。

第3条は、歳出予算の流用について定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

52ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

歳入の主なものは、1款サービス収入1億5,667万1,000円、6款繰入金1億4,967万8,000円を計上いたしました。

続いて、53ページをお願いいたします。

歳出の主なものは、2款サービス事業費で2億3,790万2,000円を計上いたしました。

続いて、83ページをお開きください。

議第44号 令和6年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算でございます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ35億9,183万円と定めるものでございます。

第2条は、一時借入金の借入最高額を1億円と定めるものでございます。

第3条は、歳出予算の流用について定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

84ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

歳入の主なものは、1款保険料7億473万2,000円、4款国庫支出金8億6,859万8,000円、5款支払基金交付金9億2,246万2,000円、6款県支出金4億9,511万7,000円、10款繰入金5億8,052万2,000円を計上しました。

86ページをお願いいたします。

歳出の主なものは、2款保険給付費33億3,897万6,000円、5款地域支援事業費1億1,057万7,000円を計上いたしました。

次に、131ページをお開きください。

議第45号 令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）予算でございます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億2,514万円と定めるものでございます。

第2条は、一時借入金の最高額を5,000万円と定めるものでございます。

第3条は、歳出予算の流用について定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

132ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

歳入の主なものは、1款診療収入1億2,543万5,000円、7款繰入金9,875万9,000円を計上しました。

133ページをお願いいたします。

歳出の主なものは、2款医業費で1億7,279万2,000円を計上いたしました。

続きまして、163ページをお開きください。

議第46号 令和6年度下呂市下呂財産区特別会計予算でございます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ420万円と定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

164ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

歳入の主なものは、2款繰入金で320万円を計上いたしました。

続きまして、165ページをお願いいたします。

歳出の主なものは、1款総務費で166万7,000円、3款諸支出金で185万円を計上いたしました。

続きまして、175ページをお開きください。

議第47号 令和6年度下呂市学校給食費特別会計予算でございます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5,522万円と定めるものでございます。令和6年2月22日提出。

176ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算でございます。

上段の歳入の主なものは、3款諸収入で1億2,797万円を計上いたしました。

下段の歳出の主なものは、1款学校給食費で1億5,502万円を計上いたしました。

次は公営企業会計の予算となります。

181ページをお開きください。

議第48号 令和6年度下呂市水道事業会計予算でございます。

第2条は業務の予定量で、給水件数1万2,930件、年間の総給水量423万4,000立方メートル、1日平均給水量1万1,600立方メートルを予定しております。主要な建設改良事業費は8,493万9,000円でございます。

第3条、収益的収入及び支出の予定額で、収入は、水道事業収益8億9,310万9,000円、支出は、水道事業費用13億8,836万5,000円を予定しています。

182ページをお願いいたします。

第4条、資本的収入及び支出の予定額で、収入は4億4,236万円、支出は5億3,158万円を予定しています。

なお、資本的収入額が不足する額8,922万円は、当年度及び過年度の損益勘定留保資金7,051万2,000円及び消費税資本的収支調整額1,870万8,000円で補填をいたします。

第5条は債務負担行為で、水道施設運転管理等業務について、期間は令和7年度から令和8年度まで、限度額を7億9,621万8,000円と定めるものでございます。

第6条は企業債で、施設整備工事として1億3,370万円を借入限度額として予定しており、起債の方法等は掲載のとおりでございます。

183ページをお願いいたします。

第7条は、一時借入金の限度額を2億円と定めています。

第8条は、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合を定めております。

第9条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費を定めています。

第10条は、一般会計から補助を受ける金額を2,803万4,000円に、第11条は、棚卸資産の購入限度額を1,000万円と定めています。令和6年2月22日提出でございます。

続きまして、219ページをお開きください。

議第49号 令和6年度下呂市下水道事業会計予算でございます。

第2条は業務の予定量で、排水件数9,504件、年間の総排水量349万7,996立方メートル、1日平均排水量9,583立方メートルを予定しています。主要な建設改良事業費は4億3,439万5,000円でございます。

第3条は、収益的収入及び支出の予定額で、収入は、下水道事業収益12億4,821万4,000円、支出は、下水道事業費用18億1,854万8,000円を予定しています。

220ページをお願いいたします。

第4条は、資本的収入及び支出の予定額で、収入は15億1,316万4,000円、支出は15億1,816万7,000円を予定しています。

なお、資本的収入額が不足する額500万3,000円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填をいたします。

第5条は債務負担行為で、水道施設運転管理等業務について、期間は令和7年度から令和8年度まで、限度額を3,829万1,000円と定めるものでございます。

第6条は企業債で、建設改良企業債2億3,130万円、資本費平準化債4億5,000万円を借入限度額として予定しており、起債の方法等は掲載のとおりでございます。

続いて、221ページをお願いいたします。

第7条は、一時借入金の限度額を1億円に、第8条は、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合を定めています。

第9条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費を定めています。

第10条は、一般会計から補助を受ける金額を2億8,608万5,000円に、第11条では、棚卸資産の購入限度額を100万円と定めています。令和6年2月22日提出。

続きまして、259ページをお開きください。

議第50号 令和6年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算でございます。

第2条は業務の予定量で、年間入場者数16万3,000人、1日平均入場者数446人を予定しています。

第3条は、収益的収入及び支出の予定額で、収入は、下呂温泉合掌村事業収益2億4,695万円、支出は、下呂温泉合掌村事業費用2億3,743万6,000円を予定しています。

260ページをお願いします。

第4条は、資本的収入及び支出の予定額で、収入は1,000万円、支出は3,713万8,000円を予定しています。

なお、資本的収入額が不足する額2,713万8,000円は、過年度分損益勘定留保資金2,376万2,000円及び消費税資本的収支調整額337万6,000円で補填をいたします。

第5条は、一時借入金限度額を5,000万円に、第6条は、予定支出の各項の経費の金額を流用ができる場合を定めています。

第7条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費を定めています。

第8条では、棚卸資産の購入限度額を3,000万円と定めています。令和6年2月22日提出でございます。

続きまして、293ページをお開きください。

議第51号 令和6年度下呂市立金山病院事業会計予算でございます。

第2条は業務の予定量で、病床数99床、年間患者数は、入院2万4,455人、外来3万6,450人、1日平均患者数は、入院67人、外来150人を予定しています。

第3条、収益的収入及び支出の予定額で、収入は、病院事業収益15億431万2,000円、続きまして294ページをお願いいたします。

支出は、病院事業費用15億786万5,000円を予定しています。

第4条は、資本的収入及び支出の予定額で、収入は1億787万1,000円、支出は1億6,986万4,000円を予定しています。

なお、資本的収入額が不足する額6,199万3,000円は、損益勘定留保資金で補填をいたします。

第5条は企業債で、医療機器等整備事業として6,180万円を借入限度額として予定しており、起債の方法などは掲載のとおりでございます。

295ページをお願いいたします。

第6条は、一時借入金の限度額を1億5,000万円に、第7条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費を定めています。

第8条では、棚卸資産の購入限度額を9,531万6,000円と定めています。令和6年2月22日提出。

以上で当初予算の説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしくお願いをいたします。

○議長（中島ゆき子君）

これより本12件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。議第40号から議第51号までの12件については、お手元に配付してあります付託表のとおり、予算特別委員会に付託したいと思います。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。よって、議第40号から議第51号までの12件については、予算特別委員会に付託することに決定いたしました。

◎散会の宣告

○議長（中島ゆき子君）

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

次の会議は3月7日午前9時30分より本会議となります。

本日はこれをもって散会いたします。お疲れさまでした。

午後2時51分 散会

以上会議の次第を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和6年2月22日

議 長 中 島 ゆ き 子

署名議員 14番 中 島 達 也

署名議員 1 番 鷺 見 昌 己